

同窓会報



総合研究棟2の前の枝垂れ桜。「社会共創学部」のステンレス製の丸い看板が新設された



法文学部本館東側にあるモミジと、「翼果(よくか、よっか)」と言われる翼のついた実



枝垂れ桜。法文学部本館をバックに

愛媛大学法文学部同窓会事務局

同窓生の懇親の場を増やしたい



法文学部同窓会会長
小池 昭彦
(1970年文経卒)

森孝明前会長を引き継ぎ、今年から第15代会長に就任しました。2018年まで3年間の任期を精一杯務めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

私は今治市の出身で、大学卒業後、地元スーパーの(株)フジで38年間勤めました。定年後、(株)レデイ薬局の監査役として4年を過ごし、現在は放送大学に在籍して、一学生として生涯学習に励んでいます。

同窓会員は現在2万人を超え、理事会・総会の開催、関東・関西・広島・四国の4つの支部活動、年1回の会報発行、学部との連携による提供講座・寄付科目など活動は多岐にわたっています。私の会長任期の3年間では、各支部を中心に同窓生の懇親の場を増やしていきたいと考えています。支部総会や大学のホームカミングデイなどを同期会などに活用していただき、その様子を会報にも反映させていきたいと思っています。特に若い方の参加を切望しています。

昨年の総会で同窓会費を2万円に値上げさせていただき、学部改編で学生数が約3分の2に減ったにもかかわらず、年間収支が安定しました。今後は先輩方が長年蓄えてこられたストックの有効な活用方法を皆さんと一緒に検討していきたいと思っています。

どうか同窓会活動に積極的に関わって頂き、会員同士の親睦を深めてください。

同窓会報の充実を目指します



法文学部同窓会副会長
西田 和真
(1973年法学科卒)

この度、副会長に就任し、主に同窓会報を担当することになりましたので、皆様のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

「会報を担当してください」と役割分担が決まり、改めて過去の会報に目を通しました。会報は第7号(通巻19号 2004年11月 B5版)からファillingされており、郵送されてきた時は一応読んでいたはずですが、こんなものが掲載されていたのかと新鮮な気持ちで読み返しました。

今までに会報の発行を担当した経験は、国税局時代に広報広聴室長として、税理士会では副会長として会報を毎月発行しました。今月号の掲載記事をどうするか悩み、やっと原稿がまとまり印刷に回すと、直ぐに翌月号の原稿選ぴと苦しい経験を思い出しましたが、同窓会報は年1回発行なのでスケジュールに追いまくれることはないとい安心をしております。

同窓会報は、同窓会本部や各支部の活動や行事、大学の現状や取り組みを会員の皆様にお知らせし、会員相互の親睦を図るとともに、大学の運営の側面支援が行えるよう、なお一層充実していくよう取り組んでいきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

新生「法文学部」と同窓会とのより一層の連携を目指して



法文学部同窓会副会長
松本 長彦
(1981年文学科卒)

2016(平成28)年1月から副会長を務めさせていただいております。理事として同窓会に関わらせていただくようになって12年が過ぎました。その間には、四国支部の創設や創立50周年記念事業、この同窓会報のリニューアル等々いろんなことがありましたが、私にとって最も思い出深いのは、同窓会による法文学部教育・学生支援事業の一つである「法文学部同窓会提供講座」の創設です。

同窓会員と法文学部との連携を深めるという趣旨で提案させていただいたものが、歴代の同窓会長・副会長・事務局長、そして様々な同窓会員の皆様のご協力をいただき、今では法文学部にとって欠かせないキャリア形成科目として定着しております。学生たちにとっても、自分自身のキャリア・ビジョンを描く上で、先輩たちの活躍している姿に直接触れる貴重な機会になっています。

今回の社会共創学部創設とそれに伴う法文学部改組に当たっては、途中段階で様々な情報が流れご心配をお掛けしましたが、法文学部そのものは人文社会科学系の総合学部としてしっかりと存続しています。

今後とも、同窓会と法文学部とのより緊密な連携を実現し、同窓会及び法文学部の発展のために微力を尽くしたいと考えておりますので、宜しくお願い致します。

後輩の就職支援にご協力ください



法文学部同窓会事務局長
久保 泰敏
(1974年法学科卒)

本年1月から、鳥生さんの後を受けて事務局長に就任しました。

愛媛大学事務職員として定年を迎えた後も再雇用職員として法文学部で勤めさせていただき、就職相談員も兼任してきました。この立場を活かしつつ、同窓会員の皆様のお力をお借りして後輩たちの就職支援に力を注ぎたいと思っております。

趣味は、ダジャレを飛ばして相手を笑わせること(失笑?)、庭いじり(庭木の剪定をすると、なぜかスポーツ刈りに)、サイクリング(風景や草木の撮影も)、ドライブ(ちっちゃい頃から運転が好きでした)、カラオケ(モノマネ風)などです。

今は所有していませんが、18歳からいろんなバイクに乗ってきて、趣味が高じてホンダ安全運転普及指導員の資格も取得しています。

また、Facebookを利用して日記をつけたり、「愛媛大学法文学部就職相談室」というコミュニティを運用したりとSNSも楽しんでいます。

私自身は14年来、変形性股関節症に悩まされてきましたが、この8月に人工関節と入れ替える手術を愛大病院で受ける予定です。

この会報がお手元に届く頃には、リハビリの真っ最中だと思います。パワーアップして復帰しますので、よろしくお願いいたします。

目次



愛媛大学
EHIME UNIVERSITY

法文学部同窓会報
第20号

新三役あいさつ	2	ホームカミングデイのお知らせ	24
第14回総会報告	3	EHIME UNIVERSITY NEWS	25
学部長インタビュー(新法文学部)	4	同期会報告	28
研究室紹介(人文学・西先生)	6	平成27年度卒業記念祝賀会	30
(社会科学・高橋先生)	7	在校生インタビュー	31
卒業生から	8	支部だより	32
退職教員/法文学部人事異動	11	支部紹介(東京章光会)	34
本部新理事一覧	12	パズル・感想・編集後記	36
理事会報告	13		
提供講座・寄付科目 報告	14		
提供講座 感想	15		
マイナンバー制度の基礎知識	16		
栗田樗堂の生涯	20		

題字：柴田 祐昭
(文理学部人文科学史学専攻・第8回卒)
[明楽寺住職・愛媛県美術会常任評議員・
県展審査員・毎日書道展審査会員]

第14回 法文学部同窓会 総会報告

森会長の任期(3年間)の集大成となった総会を法文学部大講義室で開催しました。総会の後、西村勝志法文学部長の講演を拝聴して、法文学部大会議室での懇親会に移り、親睦を図りました。

日時：2015年11月28日(土) 15:15~18:30
会場：愛媛大学法文学部大講義室ほか
出席者：81名

総会 (15:15~15:45)

報告事項
会員数の動向、決算・予算報告、支部活動報告
理事会開催報告、3年間の事業活動のまとめ

審議事項

同窓会費改定、規約改定、次期3年間の重点課題と
事業活動方針、役員改選

採決

新会長挨拶

講演 (16:00~16:30)

懇親会 (17:00~18:30)

支部活動報告

新三役・新理事紹介

ビンゴゲームほか

学歌斉唱・応援ほか



新法文学部スタート

加藤好文法文学部長 インタビュー (法文学部同窓会理事)



愛媛大学の学部再編により2016年4月から「社会共創学部」が誕生しました。法文学部も定員減（140名）および2学科から1学科制に移行し、しばらくは新旧の体制が並行して進みます。新法文学部の現状と課題などを、法文学部長で同窓会理事でもある加藤好文教授にお聞きしました。（インタビューは7月6日）

今までとの違い

定員が505名から140名減の365名になりました。そして総合政策学科・人文学科の2学科体制が人文社会科学の1学科になったこと、前期・後期のセメスター（2学期）制にクォーター（4学期）制が加わったことが大きな違いです。（表参照）

社会共創学部と新法文学部の特徴がまだ浸透していないため、入試がどうなるか心配でしたが、応募状況や倍率、合格者数に対する入学者数など、あまり混乱もなくスムーズにいきました。実際の入学者数は昼間主が288名（定員275）、夜間主が97名（定員90）の合計385名です。現在の2回生以上は総政・人文の2学科のまま卒業しますが、1回生は全員、人文社会科学で入学して2年次からコース選択をします。今まで入学時点で別れていたのが、総政・人文を転学科するのは難しかったのですが、これからはコース選択ですから比較的容易にできるようになります。

どのような人材を送り出すのか

地方大学は地域（地元）に貢献する人材を育て、地元自治体・企業への就職率を上げることが課題となっ

ています。社会共創学部はまさに地域との協働・連携がテーマですが、法文学部は地元への貢献に加えて、グローバルな視野を持った人材を送り出したいと考えています。そのために外国語・異文化理解のためのカリキュラムを充実させ、クォーター制の採用によって1学期（2ヵ月）と春・夏休み（2ヵ月）を組み合わせた4ヵ月の留学などが無理なくできるようになります。

グローバルな視野を養うための工夫

英語＋第2外国語（独・仏・中・韓・フィリピン）は映画・文学・TOEIC 対策など実践語学に特化した20数個のクラスを用意して、専任の教師も2名採用し、学生の希望を考慮しながら割り振って学べるようにします。また留学生の受け入れ・送り出しを進めます。そのためにもテロなどへの危機管理対策を早急に充実させようとしています。

就職について

公務員の採用率アップのためなどの対策講座、それから民間も含めてインターンシップを充実させる予定です。また、愛媛大学全体で地元就職率50%を目指す

ことになっています。法文学部では同窓会のご協力のもとに提供講座が開講されていますから、これを活用して学生の就職をサポートしていければと思います。同窓会にもご支援のほど、よろしくお願いします。

クォーター制はまだまだ試行錯誤

クォーター制は学内では法文学部と社会共創学部が先行していて、2回生以上も対象です。学生にとっては週1回の講義が週2回になるので、準備や復習が忙しく戸惑いもあるようです。また、長期休みと組み合わせた留学や長期のインターンシップを目的としているのですが、まだ過渡期で、実際にはクォーターとセメスターが並行して走っているため、1クォーター丸々空けるのは難しい状況です。事前には分からなかった課題も出てきていますので、今後とも改善を図ってきたいと思います。

全学的な文系のセンターを

「沿岸環境科学研究センター」や「地球深部ダイナミクス研究センター」など理系の全学センターは多いのですが、文系は「東アジア古代鉄文化研究センター」などだけで、さらに全学のセンターを立ち上げたいという学長の意向もあります。法文学部附属の「四国遍路・世界の巡礼研究センター」や松山市が力を入れている俳句や文学を研究面から支援するなど、文系学部発の研究センターを現在模索中です。徐々に減らされている国の予算を勝ち取るためにも、いろいろとアイデアを出していかなければなりません。

1学科制の運営面での苦労

総合政策学科と人文学科で別々の教授会だったのが一緒になりました。元々、学内2学部制を採っていたくらいですから、文化や風土に違いもあります。それぞれの個性を大切にしながらも、1学科としてのまとまりも持たせないといけません。学部長としてその調整がなかなか大変です。人文は基礎研究中心、総政は社会との関わり、学生にはその両方を学んでもらい、幅広い視野を持ってほしいと思います。また社会共創学部への異動と予算削減で教員数が108名から89名になり、これからも徐々に減る予定です。少ない教員数でいかにカリキュラムを充実させるかも課題です。

学生・教員数が減り、規模が小さくなった法文学部ですが、全国的に文系学部の縮小などの流れの中でいち早くスタートした学部再編ですから、上手く利用して中四国の雄として攻めていきたいと考えています。

履修コースの特徴

行動力

法学・政策学履修コース

社会科学の知識をもとに、現代社会の問題を見極めて分析を行い、問題の解決へと導く能力を養います。

学べる学問分野

法学（憲法・行政法・民法・刑法・商法・民事訴訟法・刑事訴訟法・労働法・社会保障法・税法・独占禁止法・知的財産法・国際私法・環境法・刑事政策・法理学・法社会学）政治学（現代政治理論・現代イデオロギー論・行政学・地方自治論・政治過程論・政策情報論）経済学（マクロ経済学・財政学・統計学・経済政策・社会政策・西洋経済史・経営政策学）

対話力

グローバル・スタディーズ履修コース

グローバルに活動できる人間になるために、語学力・協働力・交渉力をバランスよく身につけます。

学べる学問分野

法学（国際法・国際安全保障法）政治学（政治システム論・国際関係論・国際協力論・歴史政治学）経済学（国際貿易論・国際金融論・ヨーロッパ経済論）観光学（観光政策論・観光まちづくり論・観光経済論・国際観光論）言語文化学（英語学・英米文学・英米文化・英語コミュニケーション論・ドイツ言語文化論・フランス言語文化論）

思考力

人文学履修コース

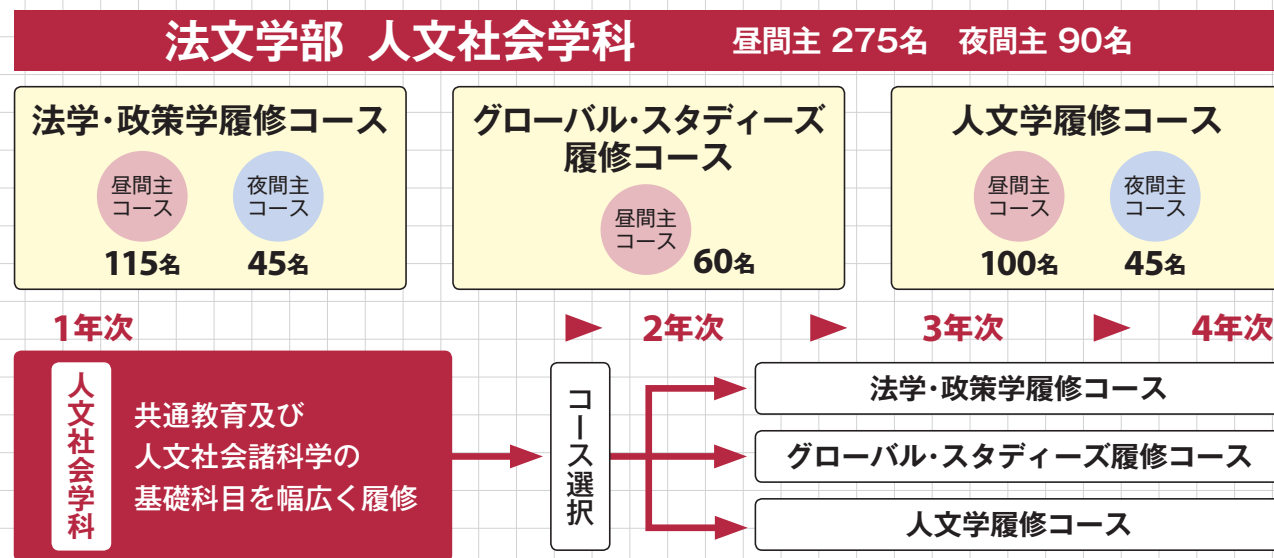
思想・心理・歴史・社会・文学・芸術・言語について専門的に学ぶことができます。

学べる学問分野

人文系諸学（哲学・倫理思想史・芸術学・心理学・社会学・地理学・考古学・文化人類学・日本史・アジア史・東南アジア史・西洋史・言語学・日本語学・日本文学・中国文学・朝鮮言語文化論）

授業日程（2016年）

前 学 期	第1クォーター	4 / 1 ~ 6 / 10
	第2クォーター	6 / 11 ~ 9 / 23
	夏 休 み	8 / 7 ~ 9 / 30
後 学 期	第3クォーター	9 / 24 ~ 12 / 1
	第4クォーター	12 / 2 ~ 3 / 31
	冬 休 み	12 / 24 ~ 1 / 7
	春 休 み	2 / 14 ~ 4 / 初



研究室紹介

人文学講座

西 耕生教授

旧：人文学科 日本文学・日本古典文学論

Q 愛媛大学にいらっしやったのはいつですか？

A 1997年に着任しました。実は、私自身も法文学部の卒業生です。生まれは兵庫県淡路島で、高校を卒業して島から島へという感じで愛媛大学へ。大学院は大阪市立大学へ行き、短期大学の講師を経て、舞い戻ってきました。縁があったのでしょう。淡路島は国生みの神話の中で最初に出来た島、四国伊予は二番目ということで導かれたのかもしれませんが。



Q 古典に興味を持たれたのはいつ頃からですか？

A はっきりと自覚したのは中学の頃です。国語の先生の板書が美しかったのを覚えています。高校の古典の先生も面白く、テストで源氏物語の橋姫の一節を絵に描きなさいという問題を出されるなど、自由な感じで古典にふれる授業が楽しかったんです。思い返せば、絵巻の一場面を念頭に置いたものだったんですね。大学では平安時代の和歌も興味深かったのですが、源氏物語をもっと深く読みたいという一心で、専門の先生がいらっしやる大学院に進む決心をしました。

Q 古典の面白さはこういったところにありますか？

A 古語が積み重なって現在の言葉があり、どんな言葉を掘り下げてみてもきっと何かに行きあたる。そういう意味では、とても緻密に組み立てられた作品が古典だと言えます。掘り進めていくと必ず結果が出るのでまた読み返したくなる。その繰り返しが古典の研究です。そういえば、源氏物語の「源」とは水源、つまり泉ですね。「自分の立っているところを深く掘れ。そこには必ず泉がある」といった先人がありますが、それが、古典がずっと読まれ続ける理由でもあり面白さかもしれません。注意深さを心がけながら興味深さを心ざすよう、学生にも「深く掘れ」というのが口癖です。

Q 先生の講義は楽しそうですね。

A 古典が好きで、その面白さを人に伝えたいという気持ちがこの職業に繋がっているのだと思います。かっちりシラバス通りにというのではなく、ほんの少しはみ出す、ときには、はみ出し過ぎることもあるかもしれませんが…（笑）。言葉ではみ出していくのが文学だ、と漸く学生にも言えるようになってきました。以前勤めていた短期大学では、児童文学を教える必要があったのですが、これがまた楽しかった。宮沢賢治やまど・みちおの詩など採りあげたり、絵本と絵巻には共通点があるというわけで、やや短い古文の詞書が伴った絵巻を幼稚園教諭をめざしている学生たちと読み解く演習をしたりしたのですが、とても面白がってくれました。

Q ゼミの学生の様子は？

A 源氏物語を読みたくてゼミに入ってくる学生も多いです

シリーズ第4回目となる今回も、前号でインタビューした先生から「友達の間」式のご紹介を受け、取材してきました。

が、そういう学生と一緒に、京都の物語ゆかりの地に研修旅行に出かけたこともあります。宇治や、鞍馬・貴船の北山を踏査するのですが、学生から歩くのが早過ぎると言われたこともありまた（笑）。ゼミ生は平均して1学年10人前後です。この春の卒業生は女性ばかりで7人でしたが、卒業時に色紙をもらいました。また昨年度は、絵心ある卒業生の一人が「卒業制作」と称して私のイラスト入りのバックを作りあげ、一同から記念として卒業式の日にプレゼントしてくれました。その年の卒業生は全員持っているらしいです。他にも、ゼミ生以外で社会学を専攻していた学生から、「西先生の授業で古典の面白さを知り、心に響くものにふれて世界が広がった」という趣旨のお礼の手紙をもらい、感激しました。

Q 今後やってみたいことは？

A 古典の注釈書で、注解で先の展開がわってしまうような注ではなく、ランニングコメンタリーといいますか、辿りたどり読み進みながら徐々に立ちこめた霧が晴れていくような注のあるテキストを作りたいですね。

Q 休日の過ごし方は？

A 音楽を聴いていることが多いです。今、気に入っているのはBUMP OF CHICKEN。メロディーに乗った歌詞がいいし、隠しトラックのアンバランスも面白い。先日はチケットをなんとか手に入れてスタジアムツアーに行ってきました。ライブは臨場感があって最高でしたよ。他にはイギリスの女性ボーカリスト、アデルもいいですね。音楽のほとんどは妻から情報を得ています。

Q 最後に、卒業生にメッセージを。

A 便りが無いのはよい便り、とはいいますが、たまには足を運んで遊びにきてください。メールより、実際に会いに来てくれて話を聴くのがとても楽しみです。



（インタビュー 小林紀子）

社会科学講座

高橋基泰教授

旧：総合政策学科 公共コース

前回ご登場の長井偉訓教授から「ユニークな研究をなされている」とのことでご紹介いただいた高橋基泰教授にお話を伺ってきました。

先生は「ユニークな研究」というか、このような研究をしている人が他にいないという点で希少価値はありますね」とおっしゃいます。日本中もおそらく先生だけだろうとのこと。その研究とは「日英村落史的対比研究」。それだけでは何の研究なのかよく分かりませんので詳しく聞いてみました。

——これはどういった研究なのでしょう？

高橋先生：日本の農村の、資本主義社会・工業化社会が浸透する前の家族制の在り方とその経済について調査しています。もともと近世期イギリスを研究していたのですが、共通するものが日本の農村にもあるということに気づいて、対比研究という形で20年ほど研究を続けています。

——興味をもったきっかけは何でしょう？

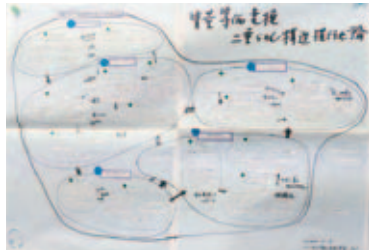
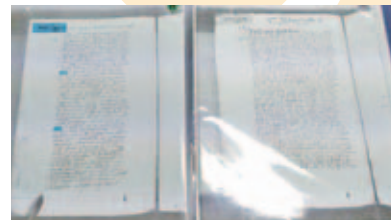
高橋先生：ところであなたは第六感とかスピリチュアルというものはお得意ですか？

——??私自身には、第六感はいったく無いと思います！（笑）

高橋先生：そうですか（笑）。私は大学生時代に指導教員の先生から渡された本でイギリスの遺言書を見たとき、向こうから手を差し伸べてきた気がしたんです。天啓を受けたような。目に見えないものですか信じられないかもしれませんが。それで、その分野のイギリスの研究家に「勉強したい」と手紙を書いて、イギリスに渡ったんです。

イギリスの遺言書は、村ごとに市役所とか裁判所的な役割を担っていた教会に集めてあって、今はそれが公文書館に保管されていますが、もう膨大な数です。1380～1800年ほどの期間で200万件ほどあるんです。

遺言書というと、今は日本でもイギリスでも財産分与がメインで書かれているものがほとんどですが、当時は気にかかる人、特に家族について書いてありました。若くして亡くなった人の場合、子供の養育についてとかですね。羊を何匹だれそれさんに預けて、その収益を養育費にしないかい、とか。わりと広い範囲の家族について書いてましたから、それ



は見方を変えると家系図です。イギリスではそれが村ごとに教会に集めてありまして、村人がお互いのことを書き合っていますので、それをたどれば横のつながりも見えてきます。

日本は、実のところ家系図大国で、今私は日本の家系図を調べていて、家系図を集めるという大変困難な作業を進めています。今、家系図は急速な勢いで散逸しているんです。授業でも学生にレポートを出してもらって集めております。詳しい家系図だと職業も記されているので、その地方の経済との関係が分かることもありますね。ただ、家系図には大変、嘘いつわりが多いです。

——ええっ。そうなんですか！

高橋先生：ええ。家系図というのは後世の人間が、いかに自分が偉いかを言うために先祖に遡って証拠づけと言いますか、お墨つきを得るためのものですから。系図屋と言って家系図を作る仕事の人がいるんですが、その人から、まあ「嘘」の家系を買うんです。でも値段によって嘘の精度が違う（笑）。高額だと精度が高く信憑性の高い家系図になります。私は青森の津軽で源義経の末裔といわれている家の出なんですけど、本家に行って家系図を見せてもらったら、途中で明らかに間違っているんです。5代前ぐらいの先祖が安く買ったんでしょうね（笑）。今は真田で有名な長野県旧上田藩（上塩尻村）の資料を調べています。ここはイギリスのように多くの資料が残っているんですよ。墓石の配置や墓碑銘などと家系の関連・パターンも研究しています。

——大変おもしろそうな研究だということが分かりました。では、プライベートな生活についても教えていただけますか？

高橋先生：私はあまり公私の区別がない男なんです（笑）。ゴルフデンウィークも仕事ですが、仕事＝遊びという感じです。そうですね、今は一か月で「変態」するという試みをしています。一年ぐらしかけてするのは「進化」なんですけど、一か月ですから「変態」。

——「変態」とは何をするものなのでしょう？

高橋先生：中身も外見も変えていくということです。具体的には、早寝早起き、腹八分、朝昼晩瞑想を20分ずつ、温泉に通うなどです。瞑想はイメトレです。ダビデ像をイメージしています。あとは美肌、いわゆる赤ちゃん肌を目指してなんです。

——赤ちゃん肌ですか（笑）

高橋先生：はい。昨年10月から秘密の美肌ジュースを飲んで「変態」しています。お肌、白髪に効くんですよ。

ほかに無動トレーニングを朝晩20回ずつ、DNAストレッチを朝晩10回ずつして、胸囲を大きくしたり、sun gazingといって朝日を眺めています。約15時間後に睡眠ホルモンが出てよく眠れます。

——すごい。いろいろされているんですね（笑）。ありがとうございました。最後に、同窓生に向けて何かあればお願いします。

高橋先生：家系図を探しています。興味をひく家系図をお持ちの方はぜひご連絡ください。

（連絡先：takahashimotoyasu@gmail.com）

まじめなお話の中にもユーモアを交え、たいへん楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。（秘密の美肌ジュースの材料は、りんご、みかん、にんにく、しょうが、ライム、レモン、オリーブオイル、ミネラル・ウォーターだそうです。気になられた方はお試しください。）

（インタビュー 野寄明子）

1986年卒業 矢野 和弘 [法学科]

現在、私は地元・今治で公認会計士・税理士として
個人事務所を開業しています。平成27年度同窓会提供
講座を担当させていただいた縁で、この寄稿も引き受
けさせていただきました。

若かりし頃



私の人生と切り
離せないのが、剣
道です。現在、剣
道七段受有者とし
て、青少年育成等
に微力ながら関
わらせていただい
ています。親の勧
めにより小学校4
年生から剣道を始
め、中学、高校、
そして愛媛大学で
も剣道部に入りま
した。入学した中

学で剣道部はなく、私が校長先生に掛け合い、2年生
進級時に剣道部ができたといった具合だったので、ほ
とんど1回戦負けの弱小チームでした。

高校では同級生に市内の強豪校の強い連中が集まっ
ていました。对人的につらいことが多々あり何度か退部
したいと思いましたが、剣道は好きだったことからなん
とか3年間部活を続けました。このように高校まであま
りパツとしない剣道人生でした。



大学4年の学祭にて

愛媛大学で剣道をやるか決めていませんでしたが、
部活見学後になぜか自己紹介をさせられ気が付くと入
部していました。中学も高校も剣道の顧問の先生がい
みませんでした。愛媛大学剣道部には監督として剣道
八段の先生がおられました。先生は、あまり細かいこと
は指導されず、「君たちは、将来、人を指導する立場に
なる者だ。試合に勝つことを目的とするのではなく、負
けてもいいから正々堂々と大きな剣道ができる者になら
なくてはいけない」と口癖のようにおっしゃられていま
した。高校までは勝負に固執し、自分の力量より背伸び

をし、その気持ちが自分で自分を追い込んでいたように
思います。この先生との出会いが、私の剣道観だけで
なく人生観を変えたと思います。

その後、私は先生の教えであるまっすぐな大きな剣
道を基本において、人を観察しそのいいところを積極
的に吸収しようと心がけました。その結果、少しずつ堂々
とした剣道ができるようになっていきました。試合に出
るようになってからは、かなりの勝率だったと思いますが、
2回生の学祭の直前に道を横断中オートバイには
ねられ、全治3か月の重傷を負ってしまいました。毎日
のように剣道部のみんなが手土産をもってお見舞いに
来てくれました。おかげで少し太りましたが、ありがた
く、剣道部は辞めずに続けようと決めました。大学の
授業も病院からギブスを巻いた足を引きずりながら通
いました。

翌年3月には稽古を再開しましたが、思うように動け
ず、試合勘もなかなか戻りませんでした。そこで自分
を見つめ直し、動けないなら動かない剣道をしようと切
り替えました。その結果、3回生の夏に四段に合格する
ことができました。学生最後の中四国学生選手権大会
では、4回戦まで進み、全日本学生選手権まで後一步
というところで2連覇した優勝者に一本負けを喫しまし
た。しかし、事故の絶望的な状況からすると、よくやっ
たと清々しい充実感でいっぱいだったように思います。

卒業して2年勤務した後、公認会計士を目指し大阪
に行き、幸いにも翌年の試験に合格することができまし
た。合格後は大手監査法人に勤務し、そこである大き
なプロジェクトの現場責任者を任されることがありまし
た。精神的にも肉体的にもかなりきつい仕事で、その
種のプロジェクトの現場責任者はよく精神疾患になると
も言われましたが、周りに助けられながらやり遂げるこ
うことができました。

ここぞという時に何とか踏ん張ってきたと自負してい
ますが、これも剣道を通じて精神と体を鍛え、基本を
大事にし、感謝を忘れず、目標達成のために前向きに
取り組むことを学ばせていただいたおかげだと思いま
す。愛媛大学剣道部での、今は亡き師との出会いや様々
な経験が私の大きな財産になっています。



趣味の旅行でロンドンにて

2014年卒業 伊藤 愛^{まな} [総合政策学科]

「日本の中心、東京に住んでみたい! そしてディズ
ニーランドの年間パスを買いたい」。そのような薄っぺ
らな動機で東京の大学に進学したいと思っていました
が、紆余曲折あり、2010年4月に愛媛大学に入学しま
した。

改めて大学生活を振り返ってみると、ほどよく「リア
充」な生活を送ることができていました。まず、オー
プンキャンパスを企画するという趣旨のサークルに入りま
した。8月のオープンキャンパスに向けて夏の間は真剣
に活動していました。学んだことは2つ。同じ目的を複
数の人と共有することの難しさ、目的を達成できたとき
の喜びです。あと、飲み会の幹事は大変だということ
(笑)。サークルも会社も人の集まり。まさに社会生活
に直結する学びが多くあったと実感しています。



オープンキャンパス当日、サークルの仲間と一緒に

傍ら、大学2年生で海外デビューしました。高尚な目
的はなく、ただ「いろんな世界を見てみたい」という気
持ちでした。初海外は韓国で、期間は1週間ほど。大
学のプログラムで、韓国の大学生と同じ施設で寝泊ま
りしながら各地を巡るという内容でした。強く印象に
残っているのは、韓国人学生がとても親切だったとい
うこと。「チンチャ?」「まじで?」韓国人の友だちに教
えてもらったこの単語を毎日連呼していたので、今でも覚
えています。1日3食キムチ付きにも慣れたころに帰国。
ドラマ「1リットルの涙」を観ても泣かなかったのに、
空港で涙を流した自分に驚いたことを覚えています。

その後、いろいろな国に行きました。礎となっ
たのはドイツ。こちらも大学の研修で先生も付き添って
くれました。が、最初は本当に試練でした。決まってい
るのは日程と航空便、宿オンリー。どこに行くのか、ど
うやって行くのか、全部丸投げされました(笑)。英語も
できない、おまけに現地はドイツ語。お金がないからイ
ンターネットはWi-Fiスポットのみ。どうするのか……?
一緒に行くメンバーで頭を抱え、あれだけ恋い焦が
れた欧米圏にも関わらず、行きの飛行機は不安でいっ
ぱいでした。ところが、到着するとテンションはうなぎ登



韓国の学生と一緒に

り。目に映るもの全てが素敵で、本当に刺激的でした。
現地でワインにはまり、毎日昼間から飲んでいました。
思い出だけでも最高です……。

そして、おそらく大学生活で最もまじめな行動に出
たのがこのときでした。「ポーランドにある『アウシュ
ヴィッツ収容所』に行きたい」。第二次世界大戦のとき
に、ユダヤ人の大量虐殺が行われた場所です。ドイツ
に行った十数人のメンバーのなか、学生有志5人で
国境を越える夜行列車とバスを乗り継いで行きました。
誰もが言葉を失いました。殺された人たちの大量の髪
の毛が展示されている大きな部屋や、赤黒い血痕が残
る処刑台。今も鮮明に覚えています。話が散乱しまし
た。つまり、なんとなかるといこと、テレビやイ
ンターネットで見ると自分の目で確認するのでは全く違
うということ、世界は広いということを学びました。

このように勉強はほとんどせずに卒業し、今年の4月
で社会人3年目に突入。地元の新聞社で記者を名乗っ
ています。名ばかりです。愛媛大学で学生時代からお
世話になっている先生に取材することもあり、本当に人
生とは何が起こるか分からないなあ、とつくづく思いま
す。現在の仕事では、さまざまな業界や職種の方とお
話する機会があります。自分の知らない世界がたくさん
あるということ、いかに自分が何も知らないのかとい
うことを突きつけられ、そしてそれが楽しいです。

学生時代は大半をふざけて過ごしていたため、責任が
伴う仕事ではしんどいことも多いですが、そんなときは
お酒とアニメ観賞で鬱憤を晴らしています。これからも
一歩ずつ成長していけるように粛々とやっていきます。



イタリアの遺跡で



From a Graduate

卒業生
から

1957年卒業 松室 龍彦

〔文理学部人文学科史学専攻〕

青春の回想

昭和8年生まれの私は平成26年、81歳を迎えた。小学校入学の冬に第二次大戦が始まり、6年生の夏に終戦を迎えて、翌年春に旧制中学に入学。そこでは上級生が旧制高校、専門学校の受験を目指している姿を目にする一方、陸士、海兵出身の人が旧高専に合格して再起の人生を歩む話を聞かされて、戦後の新生日本への転換期を歩む複雑な世相の中で勉強していた。

中学3年修了で新制高校へ編入されて、3か年の高校生活で、国公立大学の志望者は進学適性検査の準備を含めていわゆる受験勉強に励んで、ようやく愛媛大学に入学することができた。

入学式は講堂の章光堂で行われ、気が引き締まる思いだった。1回生の学生祭では、この講堂で南海放送局の公開放送番組や講演会が開催され、講堂は聴衆でいっぱいになり、2日目にはこの講堂で一橋大学の上原専禄先生の講演を興味深く聞き入った。

それから教養課程、専門課程を終わって、昭和32年3月に卒業以来、59年の月日が過ぎ去り、わが人生の未来も気になるが、歩んできた道のりをふと振り返る機会を得た。それはここ数年、同窓会四国支部総会に参加させてもらうちに、出席者の先輩諸兄、また後輩諸兄との会話を通して、一層時代の背景や変化がよく分かるような気がする。

一方、同窓会総会の度に翌日、城北キャンパスを訪ねて新しい施設も巡回してみた。学生祭の会場に立ち寄ると、ちょっとした感懐がある。私の日常に経験しない新鮮な時間と空間に触れることによって、なぜか自身の学生時代の思い出が脈々と蘇るようだった。そのようなことで学部跡を一度ゆっくり見届けてみたいと思い立ち、平成26年の晩秋に母校を訪ねた。

杜に囲まれた静寂なキャンパス

同窓会支部総会の当日、岡山県井原市の自宅から広島県福山発「しまなみ海道」経由の高速バスで2時間半、松山市駅に到着。市電の勝山電停で下車、通学していたとおりの道筋を東へ進み持田町一丁目へ。文理学部正門跡に着き、さらに左側の道路を北へ入ると、現在の附属中学校通用門（守衛室）に着く。

守衛に来意を告げ、章光堂の正面に立つ。在学中は前後の風景の中で特に珍しいとは思わず意識して眺めた建物ではなかったが、傍の石標の「旧制松山高等学校講堂」とともに眺めると、保存整備された白亜の殿堂に見えて、改めて大正、昭和、平成の3世代に存続した文化財となった姿に感慨無量であった。



章光堂・松高校章

の意味が読みとれる気もして、しばし佇んでエンタシスの白柱にも注目した。正面入り口から右手に回って東側の出入口の前に立つ。講堂1階から2階へ上った所の会議室の窓が、往時のまま眺められる。愛真会代議員会の会議を開いた狭い部屋。その隣（北側）に新聞部の部室もあった。1階正面のステージで学生祭の演劇、合唱団のコーラスの曲も流れていた。講堂に面して立ち並ぶ木立の向かい側に、合併第二教室、その東に理髪店、学生協の食堂があった。

樹木に囲まれた食堂前の広場の東側に掲示板が並んでいて、休憩時間、登下校時に大勢の学生が1日1回必ず集まり掲示板を見たり、木蔭で立ち話を楽しんだり、青春広場そのものだった。

その場所からさらに一段上った所（正面）の左手には、理学科の演習室、実験室が並んでいて、実験中の時間待ちに白衣を着た学生がキャッチボールをしている風景もよく見かけられた。この理科棟の南側は法・経科系の教官室の建物があったが、小生は人文系（哲・文・史）の史学専攻コースなので、この建物には立ち入ることはなかった。ただ、よく見かけた風景は、当時はほとんどが木造の建物で室内では下駄履きが禁止だったために、該当者は必ず廊下、出入口で下駄を脱いで通行していた。みんな規則正しく、これを励行する姿が記憶に残っている。

昭和28年度入学の小生の思い出を想起しながら、この学園広場に足を進め、北東に位置する元グラウンドの場所に立ってみると、往時の持田グラウンドの記憶が脳裏に浮かんでくる。グラウンドを囲む緑の木立は変わらぬ姿だった。



Message from Professor

退職された 教員の方



小川竹一先生

- ① 平成20(2008)年
- ② 法文学部総合政策学科
- ③ 物権法

出生 昭和25(1950)年

出身大学 早稲田大学法学部（1974年卒）

最終学歴 早稲田大学大学院法学研究科修士課程（1978年修了）

学位・称号 法学修士

所属学会 日本農業法学会

- ① 愛媛大学に来られた年
- ② 所属の学部学科
- ③ 研究・専門について

法文学部 人事異動（2016年4月1日付）

転出・異動・配属先	氏名	旧所属学科等
(他大学へ)		
長崎大学多文化社会学部	中村 則弘	総合政策学科
愛知学院大学総合政策学部	中村 悦大	//
兵庫県立大学経営学部	藤川 健	//
大阪大学大学院文学研究科	高安 啓介	人文学科
(社会共創学部へ)		
社会共創学部産業マネジメント学科	西村 勝志	総合政策学科
//	徐 祝旗	//
//	山口 由等	//
//	川口 和仁	//
//	岡本 直之	//
//	岡本 隆	//
//	曾我 亘由	//
//	崔 英靖	//
//	谷本 貴之	//
//	折戸 洋子	//
//	山口 信夫	//
社会共創学部地域資源マネジメント学科	大谷 尚之	人文学科
//	井口 梓	//
//	淡野 寧彦	//
//	寺谷 亮司	地域創成研究センター
社会共創学部地域資源マネジメント学科（兼務）	榎林 啓介	東アジア古代鉄文化研究センター
//	村上 恭通	//
(法文学部へ) 教授		
人文社会学科 社会科学講座 経営管理論	和田 寿博	地域創成研究センター
(採用) 講師		
人文社会学科 社会科学講座 マクロ経済学	新開 剛史	
(採用一継続)		
人文社会学科 地域創生学 寄付講座教授	有期契約職員	
連合法務研究科教授 特定教員	大西 正志	
	高田 義之	

（敬称略）

本部新理事一覧（2016～2018）

	氏 名	卒業年度	勤 務 先	
会 長	小 池 昭 彦	1970 文経	元 (株)フジ 元 (株)レディ薬局 監査役	新任
副 会 長	西 田 和 眞	1973 法	税理士	新任
	松 本 長 彦	1981 文哲	愛媛大学 愛大ミュージアム館長（法文学部教授）	新任
事務局長	久 保 泰 敏	1974 法	愛媛大学 法文学部人文学講座事務室	新任
理 事 【法】	森 敏 明	1976 法	愛媛県動物園協会 常務理事	新任
	酒 井 悦 男	1979 法	(有)えひめ保育企画	
	橋 本 珠 樹	1981 法	愛媛県庁 土木部土木管理局長	新任
	山 本 陽一郎	1981 法	南海放送(株) 企業文化局文化事業部	
	辻 正 道	1982 法	(株)フジ 店舗開発部 シニアマネージャ	
	藤 田 育 子	1982 法	幸法律事務所	
	赤 松 英 輔	1990 法	愛媛新聞社 編集局整理部 副部長	
	野 崎 明 子	1993 法	五葉法律事務所	
	野 本 学	1996 法	J A 愛媛中央会 地域農業対策部	
	大 萩 健	1998 法	松山市役所 公営企業局契約管理課	新任
理 事 【経】	兼 久 良 二	1970 文経	カネトミ機工 代表 元 住友建機販売(株) 四国統括部長	新任
	安 永 博 邦	1973 経	デイ・トレーダー	
	吉 野 隆 彦	1977 経	公益財団法人 松山市男女共同参画推進財団（COMS） 事務局長	
	玉 井 周 平	1978 経	アイサービス・玉井事務所	
	高 田 敬 士	1980 経	(株)ユーミーケア 取締役業務本部長	
	渡 部 雅 泰	1985 経	クレストデジタルズ(株) 代表取締役社長	
	黒 河 安 徳	1986 経	J A 愛媛中央会 組織広報部長	
	杉 田 栄 治	1987 経	愛媛県中央病院 総務医事課長	
	土 井 明 人	1998 経	(株)アサヒジム 代表取締役社長	
	小 田 歩	2005 総政	(株)ネクスト・アド	新任
(事務局)	後 藤 珠 希	2006 総政	オフィスラブリ	
理 事 【文】	廣 田 章 子	1966 文国		
	穂 岡 謙 治	1968 文	聖力タリナ大学 非常任講師	
	加 藤 好 文	1975 文英	愛媛大学 法文学部長（法文学部教授）	
	山 本 求	1979 文史	大学生協中国四国事業連合 常務理事	
	安 藤 あさみ	1979 文独		
	中 島 邦 雄	1984 文史	日本料理すし丸 専務取締役	新任
	村 上 和 恵	1989 文	愛媛大学 総合健康センター	
	小 林 紀 子	1989 文英	愛媛県立みなら特別支援学校	
	鳥 生 勉 歳	1989 文地	アマノ印刷 出版部	
	和氣坂 ハナミ	1996 文		
監 事	熊 谷 広 行	2001 院	済美平成中等教育学校	
	吉 岡 寿 治	1974 法	ひめぎんビジネスサービス(株) 代表取締役	新任
	畠 中 節 男	1979 法	(株)いよぎんコンピュータサービス 代表取締役	

「会報及び同窓会に対するご意見・ご感想」でいただいたご意見について回答いたします。

Q&A

Q 支部の総会や懇親会にも参加したいと思いますが、中部支部は設立されていますか？
A 残念ですが、現在、中部地区をカバーする支部はありません。中部地区在住で、世話人になっていただける方がいれば、設立が可能になるかもしれません。

Q 同窓会（にきたつ会）の案内が欲しいのですが……
A にきたつ会の事務局に情報提供し、案内を送っていたべくことになりました。

Q 平成7年卒の同窓会があればと思います。
A 卒業年別の同窓会はありませんが、同期会開催をご希望でしたら同期の名簿を提供することが可能です。26ページと同様の手続きをお取りください。

理 事 会 報 告

2015年度 第2回(通算第66回)理事会

日 時：2015年10月9日（金）18：00～21：00
場 所：愛媛大学校友会館2Fサロン
出席者：24名

【報告事項】

- 第6回ホームカミングデイについて
- 同窓会報第19号発行
- 2015年度・法文学部同窓会提供講座「社会と人間」
- 支部活動・支部長会など報告と予定
- 大学関係行事報告、会長会・校友会理事会予定

【審議事項】

- 第14回総会について →承認されました。
- 次期理事・三役の人選について →承認されました。
- 同窓会費値上げについて →承認されました。
- 同窓会規約の見直しについて →承認されました。

2015年度 第3回(通算第67回)理事会

日 時：2016年2月26日（金）18：00～21：00
場 所：愛媛大学校友会館2Fサロン
出席者：28名

【報告事項】

- 2015年度・法文学部同窓会提供講座「社会と人間」
- 2016年度会報編集委員会スタート
- 支部活動・支部長会など報告と予定
- 大学関係行事報告、会長会・校友会理事会予定
- 2015年度決算（暫定）について

【審議事項】

- 2016年度予算案について →承認されました。

【質疑応答】

Q：鳥生理事から、同窓会でのサークル活動や同期会への補助についての提案がありました。
A：会長から、すぐに結論は出せないが、支部活動の活性化の一つとして検討していきたいとの答弁がありました。

2016年度 第1回(通算第68回)理事会

日 時：2016年6月10日（金）18：00～21：00
場 所：すし丸 本店
出席者：31名

【報告事項】

- 2016年度・法文学部同窓会提供講座「社会と人間」
 - 2016年度会報編集委員会
 - 同窓会員 会員数報告
(2016年3月末卒業生)
- | | | | |
|----------------------|--------|-------|--------|
| 総合政策学科 | 昼間主286 | 夜間主66 | 計534 |
| 人文学科 | 昼間主139 | 夜間主43 | 計182 |
| 累計 | | | 20,599 |
| 文理学部19年（1953年～1971年） | | | 2,222 |
| 法文学部44年（1972年～2016年） | | | 18,377 |
| (2016年4月新入生) | | | 計422 |
| 人文社会学科 | 昼間主288 | 夜間主97 | 計385 |
| 総政（編入） | 昼間主 6 | 夜間主16 | 計 22 |
| 人文（編入） | 昼間主 3 | 夜間主12 | 計 15 |

- 支部活動・支部長会など報告と予定
四国支部お花見 4/2（土）
- 大学関係行事報告、会長会・校友会理事会予定
卒業式 3/24（木）
入学式 4/6（水）
- 事務局体制の変更について

【審議事項】

- 2015年度決算・監査報告および承認
 - 収入562万1,964円に対し、支出780万7,913円となり、218万5,949円の赤字となっていますが、支出の目標800万円以内を達成しました。
 - 収入は、新入学生会費が539万円、利子収入が8,848円、計562万1,964円です。
 - 支出では、事務局手当96万円、法文学部事務謝金5万円、交通費21万8,980円、三役会議・理事会・監査経費48万4,600円、新卒業生30万円、支部活動費157万3,252円、会報発行経費302万827円、事務経費29万9,020円、学部学生就職支援43万4,182円、渉外活動費3万円、雑費12万7,025円、総会・懇親会31万27円の計780万7,913円で、予算に対して26万4,887円少なくなっています。
- 5月25日（水）に、畠中監事と吉岡監事により監査を行いました。 →承認されました。

- 2016年度予算案（再提案）
 - 新入学生会費が予想を上回り777万円になったのと、利子収入を実態に合わせて減額したことにより、収入が777万9,000円になります。
 - 2015年度の実績に合わせて増額したものの、2015年度の調査ハガキ印刷費が次年度の支払いになったもの、各支部総会への出席者を複数にする予定による支部総会出席旅費の増額により支出合計が789万800円となり、11万1,800円の赤字となりますが、支出の目標800万円以内には収まる見込みです →承認されました。

- 2016年度の事業計画
 - 同窓会報は、同窓会員への大学紹介や会員相互の情報交流の場として、毎年1回の発行を行います。同時にホームページの充実を図ります。
 - 支部活動の活性化を重視し、各世代の同窓会員の数を増やし、交流を深めます。
 - 本年度からスタートした学部再編について、同窓会としてどのように対応するのか検討を重ねます。
 - 10年目を迎える「提供講座」を充実させるとともに、変化していく就職活動に対応したサポートができるよう、現役学生とのつながりを広げます。
 - 同窓会名簿の精度を高めます。
 - 日常の活動強化の基本となる、明るく活発で民主的な理事会運営に努めます。 →承認されました。

- 2017年度法文学部同窓会寄付科目・提供講座の開講について →承認されました。
- 理事の交代について →承認されました。

【質疑応答】

Q：玉井理事から、編入学生の同窓会費納付状況について質問がありました。
A：人文社会学科の新入生：380人中355人、総合政策学科及び人文学科の編入学生：37人中33人が納付済みです。（いずれも2016年4月末現在）←事務局長から後日回答しました。
Q：鳥生理事から、支部活動の活性化について、例えば新規会員を含む3人以上のグループで支部総会に参加したら会費を半額にし、本部から支部へ相当額を補助するなどの支援をすればいいのではないかと提案がありました。
A：会長から、三役会議で検討していきたいとの答弁がありました。

同窓会 提供講座『社会と人間』

講師・お手伝いの方に感想をお聞きしました！

9年目となる2015(平成27)年度提供講座は、法文学部同窓会の全面的支援の下、法文学部の卒業生を講師として下記の日程で開催されました。

例年通り、後期の毎週木曜日・第5限目に開催し、全15回、22名の講師にご協力いただきました。今年は200人以上の学生が受講し、会場を大講義室に替えて講義を行うほどの盛況ぶりでした。2016年1月28日(休)には、お手伝いをしていただいた現役学生に感謝状を贈呈し、講師陣も交えて反省会と懇親会を行いました。

回	テーマ	担当日	担当講師名	卒業年・学科
1	ガイダンス	10/1	森 孝明	1968・文独
2	通訳・翻訳家として働く	10/8	菅 紀子	2000・人文院
3	県職員として働く	10/15	栗田 謙	1993・法
4	国税専門官として働く	10/22	大塚 奈美	2002・総政
5	経営者として挑戦	10/29	増本 信也	2001・総政
6	公認会計士行政書士として働く	11/5	河野 千玲	2014・人文
7	金融業界で働く	11/12	大藪 崇	2002・総政
8	働く女性の現在	11/19	矢野 和弘	1986・法
9	教育の現場で働く	11/26	竹内 明久	1971・文地
10	警察・消防で働く	12/3	松本 知大	2005・人文
11	小売業で働く	12/10	木山 千鶴	2009・総政
12	地域農業振興への挑戦	12/17	佐々倉 愛	2008・人文
13	報道業界で働く	1/14	古谷 優依	2009・人文
14	学習塾を起ちあげる	1/21	山田 暢子	1976・文国
15	僧侶として働く	1/28	梶川 成保	1994・法
			大塚 英俊	2003・総政
			小池 昭彦	1970・文経
			渡部 祐衣	2013・総政
			長谷川悠介	2010・総政
			伊藤 愛	2014・総政
			田尾 昭憲	2005・総政
			峰岡 韶秀	2003・総政

2015年度提供講座の学生に対するアンケート結果

興味深かった講義

- 1位 学習塾を起ちあげる
- 2位 経営者として挑戦
- 3位 県職員として働く
- 4位 報道業界で働く
- 5位 僧侶として働く

満足度

大変満足している	52.7%
やや満足している	42.4%
若干不満足である	4.9%
不満足である	0.0%

印象に残っている言葉・影響されたこと

無理って言った瞬間無理になる／考え方を変えるもしくは変える努力／大学生のうちに海外へいくべき／大学生活でしかできない体験をする／仕事＝能力×努力×考え方／人を変えることはできないが、自分を変えることはできる／本気でかかれ

など

2016年度 提供講座・寄付科目開講のお知らせ

▶2016年度 法文学部提供講座 開講計画

回	テーマ	担当日	担当講師名	現 職
1	ガイダンス	10/5	小池 昭彦 久保 泰敏	法文学部同窓会会長 元 ㈱フジ ㈱レディ 業務監査役 法文学部同窓会 事務局長 法文学部人文講座事務室
2	サービス業という仕事	10/12	野村 靖記	松山総合開発株式会社（松山全日空ホテル）社長 元伊予銀行常務取締役 愛媛大学校友会 副会長
3	県職員として働く	10/19	鶴本 創 竹村 亜子	愛媛県企画振興政策企画局 総合政策課政策企画グループ 担当長 愛媛県人事委員会事務局 採用給与課任用試験係 主事
4	警察・消防で働く	10/26	近藤 梨嘉 大塚 英俊	愛媛県警察本部 厚生課 松山市東消防署 消防業務担当
5	経営者として挑戦	11/2	大藪 崇	㈱エイトワン 代表取締役社長
6	働く女性の現在	11/9	重松 直江	重松直江税理士事務所
7	金融業界で働く	11/16	矢野 一彦 森藤加奈子	㈱愛媛銀行 リスク管理部 次長 ㈱愛媛銀行 空港通支店
8	教育の現場で働く	11/30	加藤 美樹	一般社団法人 フリースクール 編 通信制高校サポーター校 松山東林館
9	起業家として挑戦	12/7	芳野 裕士	㈱ GOOD FIELD 社長

回	テーマ	担当日	担当講師名	現 職
10	卸売業という仕事	12/14	中井 雅史 三木健太郎	㈱アスティス 執行役員 経理部長 ㈱アスティス 松山支店
11	農業振興への挑戦	12/21	黒河 安徳 高木 佑典	JJA愛媛中央会 組織広報部長 JJA愛媛中央会 組織広報部長 調査役
12	刀匠という仕事	1/11	小島潤一郎	刀鍛冶・号「月房」
13	報道業界で働く	1/18	長谷川悠介 伊藤 愛	愛媛新聞社 編集局運動部 愛媛新聞社 編集局報道部
14	僧侶として働く	1/25	峰岡 韶秀	天台宗 寶珠山 紫雲寺 住職
15	ま と め	2/1	松本 長彦	法文学部同窓会会長 法文学部教授

▶2016年度 法文学部寄付科目 実施状況

学期	学 科	科目名	時間割	担 当 教 員
前学期	総合政策学科	地 域 政 策 論	木曜6限	岡本 隆（教授）
	人 文 学 科	伝 統 文 化 論	水曜3限	畑守 泰子（非常勤講師） 張 栄順（非常勤講師）

* 同窓会員の方は聴講無料です。詳細は教育支援課法文学部チーム (TEL. 089-927-9220) までお問い合わせください。
また同窓会ホームページ (<http://koyu.ehime-u.jp/houbun/blog/>) でもご覧いただけます。

第7回「金融業界で働く」講師

㈱伊予銀行 古川支店
木山 千鶴



今回、「金融業界で働く」というテーマで講義をする機会をいただきました。本講座は、卒業生の講師より経験談を聴き、学生が大学生活や卒業後の社会生活について考えることを目的としており、テーマに関して自由に話す、というものでした。

2名の講師の談話を学生に聴いてもらう形で講義を行いました。主に、銀行業務の内容について、苦楽や、やりがいについて、また、銀行業を志望した動機、自分の大学生活や就職活動について話しました。その中で、自分が学生の時に考えていた悩みをどう解決したか、心に残っている言葉や、学生時代に考えて過ごしておけば良かった事等を含めて話すよう心がけました。

真剣な表情で話を聞き、メモをとっている学生の姿がとても印象的でした。実際に質疑応答など直接話をする時間は少しでしたが、たくさんの感想文を書いてくれました。どの感想文からも、自分の将来について一生懸命考えていることが伝わってきました。

銀行の仕事の具体的なイメージができたこと、銀行業務に興味を持ちこれから調べようと思ったこと、心に残った言葉やこれから挑戦したいことなど、前向きな内容ばかりでした。対談式の講義も聞きやすかったと言ってもらえて良かったです。

講義をする機会をいただき、学生の皆さんに、自分の将来を考える中で何か1つでも感じてもらえたり、キッカケにしてもらえればという思いで話しました。今までこのようなテーマで話したこともなく不安もありましたが、自分にとっても、改めて自身の生き方を振り返る良い機会となり、私自身、学生の方と接することで多くのことを学ばせていただきました。

非常勤講師というとても貴重な経験をさせていただいた事、多くの方々に出会えた事に感謝致します。本当にありがとうございました。

キャリア・サポーターとして運営をお手伝い

法文学部 総合政策学科 公共履修コース
竹内 健太郎 (写真右)



私はSCV（スチューデント・キャンパス・ボランティア）に所属するキャリア・サポーターの一員として3年間、授業運営のお手伝いをさせていただきました。授業の履修生として受講した年を含めると、4年間この講座に関わらせていただいたことになります。

同窓会提供講座では、法文学部をご卒業された先輩方に交代で講師を務めていただきます。講師の先生方のご職業は様々で、日頃のお仕事について何う中で毎回新鮮な発見があります。また、ご自身の学生時代について赤裸々に語ってくださることもあり、共感し傾く場面もありました。

授業の運営補助は、TAの皆さんと協力して行いました。授業開始前には教室の準備や資料の配布、授業中は司会進行など、役割を分担しつつ行います。そして講師の先生がお話くださる間は、私たちも受講生と一緒に話をお話を聞かせていただきました。

この授業のテーマは「教養」だと、私は思っています。今日、社会の流通情報量は日々増え続けています。しかも限られた時間の中で、私たちはとかく情報に即効性を求めがちです。一方、この1回90分間の講義の中で耳にするお話は、ともすればその場で「なるほど」と納得できるものばかりではないと思います。授業の最後には受講生からの質疑・応答の時間を設けているのですが、なかなか手が挙がらないこともあります。それでも、学生の皆さんからのコメントカードには充実した感想が寄せられます。

受講生の多くは、就職活動をまだ経験していない2・3年生です。私自身もスーツに身を包んで社会と向き合っ初めて、先輩方の語っておられたことが実感をもって伝わってきたことがあります。時間をかけて心に浸透する「教養」は、社会へ出るとき必ず役に立つでしょう。

2016年度、この講座は10年目を迎えます。学生や教職員の皆様から支持され、今後20年30年と続く講座になってほしいと願っています。皆様、本当にありがとうございました。

2015年の秋からマイナンバーの通知が自宅に届いています。「便利になる」と言われる半面、「情報の漏洩」や「プライバシーの侵害」などマイナス面も危惧されています。はたして実際のところはどのようなのでしょうか。かつて松山税務署署長を務め、税に関してのスペシャリストである西田副会長に解説していただきました。

マイナンバー制度の基礎知識

元松山税務署長・同窓会副会長 西田 和眞
(1973年 法学科卒)



1. マイナンバー制度の概要

(1) 制度の目的

マイナンバー法は正式名称を「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」といい、2013年5月24日に成立しました。別名「社会保障・税番号制度」とも言われるように、制度の目的は社会保障、税、災害対策の3分野で効率的に情報を管理することにあり、これまで年金や税などに関わる国の行政機関でバラバラに存在していた情報をひとつの番号で管理し、同一人物の情報であることを確認するためにつくられました。

この背景には、消えた年金、宙に浮いた年金記録問題のように、住所、氏名、生年月日だけでは結婚や住所移転などで個人を特定することが困難な場合があることや、東日本大震災などの大災害の時に早急な支援体制を確立する必要があることなどが挙げられています。

(2) 番号の通知・利用

①個人番号

個人についての番号は2015年10月5日現在、住民登録している全国民と外国人に対して一人一人に12桁の番号が、自治体から委託された地方公共団体情報システム機構で付番され、通知されています。この個人番号は、国民からの公募によって「マイナンバー」の愛称で呼ばれています。マイナンバーの利用においては、本人確認を必ず厳格に行う必要があり、身元確認と番号確認が行わ

れます。

このマイナンバーは紙で通知されていますが、写真入りのマイナンバーカードの交付申請をしておけば、2016年1月から市区町村役場で紙の通知カードと引き換えに交付が始まっています。このカードはプラスチック製でICチップが付いており、氏名やマイナンバーなどのほか、署名用電子証明書と利用者証明用電子証明書のデータが記録されており、今後の利用が予定されているマイナ



マイナンバーカードの見本

ポータルへのアクセスにも使われるほか、身分証明書としても利用できます。

マイナンバーは例外を除いて、生涯変わることなく利用され、今後は様々な場面で使われますが、重要な個人情報のため厳格な管理が求められています。

②法人番号

一方、登記されている法人や行政機関などにも13桁の法人番号が国税庁で付番され通知されています。マイナンバーと大きく違う点は、法人にはプライバシー問題がないことから利用範囲に制約がないため、誰でも自由に利用することができ、国税庁のホームページの中の「国税庁法人番号公表サイト」を利用すると、全国の法人について法人名や所在地、法人番号が自由に検索できます。

2. マイナンバー制度と個人情報保護

(1) 個人情報保護法

現行の個人情報保護法では、本人が同意さえすれば個人情報を収集先が利用できます。情報を漏洩した場合も情報漏洩だけでは処罰されず、個人情報保護委員会の行政指導に従わなかった場合に初めて罰則が適用されるだけです。2014年のベネッセコーポレーションの情報漏洩事件でも、下請けの派遣社員は個人情報保護法ではなく、不正競争防止法違反（営業秘密の複製・開示）の罪に問われています。

なお、2015年9月3日に改正法が成立しており、これによると、いわゆる名簿屋対策として個人情報データベースを取り扱う者が不正に情報を漏洩した場合には罰則が新設され、2年以内に施行される予定です。

(2) マイナンバー法

一方、マイナンバー法は、個人情報にマイナンバーが付けば特定個人情報として扱われ、マイナンバーを取り扱う全ての事業者に種々の厳格な安全管理措置が求められています。法律で規定している場面以外は情報を求めることも提供することもできません。会社や事業主が従業員の源泉徴収票等を作成するために取得する場合などの例外を除いて、基本的に取得できるのは行政機関です。たとえ本人の承諾があっても、マイナンバーを記録すると取得に当たり違法となります。また、罰

則も不正に漏洩すると薬物事件並みの重罰に問われます。

3. マイナンバー制度のメリット・デメリット

(1) メリット

そもそもマイナンバー制度には、①公平・公正な社会の実現、②行政の効率化、③国民の利便性の向上という3つの目的があります。

マイナンバー制度の第一のメリットは、行政機関相互で情報共有が容易になることから、行政への手続きが簡素化されます。

第二のメリットは、2017年1月から運用開始されるマイナポータルを利用できることです。^(※) 自分の特定個人情報をいつ、どこに、なぜ提供したのかを確認できます。現状は行政機関が勝手に個人情報を使っても分からない仕組みなので大きな前進といえます。また、自己に必要な年金や受給できる手当、予防接種などの情報を受け取ることもできます。

第三のメリットは、災害時に効力を発揮します。自治体は健康保険や介護保険の利用状況で持病や障がい把握して要支援リストを整備でき、また、災害後の被災者生活再建支援金などの給付もこれまで以上にスムーズに実施できます。

(※) マイナポータルは、2016年6月23日付の日本経済新聞の報道によれば、本格運用が予定より半年延期され、2017年7月になる模様です。

(2) デメリット

当然のことですが、マイナンバー制度にはデメリットも存在します。

まず第一に、国民のプライバシーが侵害される危険性をはらんでいます。国や自治体は特定の人物の情報を簡単に、しかもまとめて確認することができますので、プライバシーの侵害の恐れがあります。このリスクを回避するため、マイナンバー制度では国民の個人情報を一元管理するのではなく、従来どおり分散管理する方法を採用しています。また、行政機関での個人情報のやり取りは勝手にはできず、必ず「情報提供ネットワークシステム」を介して行うことが義務付けられています。このため、国民はこの履歴を先ほどのマイナポータルで確認することができます。また、マイナンバーカードのICチップには個人の年金や税の情

論文紹介

報は一切入っていませんので、万一紛失してもこれらの情報が洩れる心配はありません。

第二に、個人情報流出・漏洩するリスクがあります。これには行政機関や各種の申請書・届出書を作成するためにマイナンバーを取得している会社・事業者への不正アクセスと業務に従事する者の人的ミスがあります。国のシステムには最新のセキュリティ対策がとられていますが、将来にわたって安全とは誰もいえませんし、すべての会社・事業者が万全の安全管理措置をとっているともいえません。対策としてはネットに接続していないパソコンで事務処理をすとかネットに接続している場合は最新のウイルスソフトを入れることです。年金番号流出事件のように不用意にメールを開いてウイルスに感染し、しかもネットに接続したパソコンでは年金の処理業務ができないという規則を無視してこれを行い、感染したパソコンから情報が流出したように、ヒューマンエラーは必ず起こり得ると考え、事前に対策を十分講じておくことが必要といえます。

第三に、マイナンバーを利用した新手の犯罪が起ることも想定されます。現にマイナンバー制度をかたった詐欺事件が発生しています。これを防ぐには、国民一人ひとりがマイナンバーについての正確な知識を持つことが重要といえます。



マイナちゃん

4. マイナンバー制度への対応

(1) マイナンバーの提供

現在のところ、マイナンバーの利用範囲は社会保障・税・災害対策の3分野で102項目に上っています。

例えば社会保障の分野では、年金、児童手当、生活保護、医療・介護保険、奨学金などの給付や公営住宅、福祉施設への入居、妊娠の届出、予防接種など多岐にわたっており、マイナンバーと無縁の人は一人もいません。

また、税の分野でも、法定調書という項目ひとつを取ってみても61種類もあります。代表的なものとしては源泉徴収票です。このほか、証券会社の特定期口座での証券取引、株式配当金の受取り、生命保険会社からの保険金の受取りなど数多くあります。

会社員

会社員の方は、本人のほか扶養親族分も含めて、勤務先にマイナンバーを提供しなければなりません。会社では健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金の届出や源泉徴収票の作成などに利用します。

副業でアルバイトをしているとか原稿の執筆や講演をしている場合は、いずれも法定調書の対象となっているため、マイナンバーを提供しなければなりません。

では、副業が勤務先にバレてしまう？ もし相手方からマイナンバーの提供を求められた場合は、その情報は税務当局に届いていると考えてください。バレないためには、キチンと税務申告をして税金を払うことです。税務署に確定申告書を提出する場合は、確定申告書第二表の住民税に関する事項の中の「住民税の徴収方法の選択」欄で「自分で納付する」にチェックを入れておくことです。チェックを忘れると、市町村は合算した所得を基に会社に源泉徴収税額を連絡するため、会社から不審の目で見られます。2ヶ所給与の場合はこのような納付の取り扱いはありませんのでご注意ください。

事業者・年金生活者

一般的には提供するケースは少ないと思われます。市町村の委員になっている場合や、不動産を

会社や事業者に貸して賃料を受け取っている場合はマイナンバーの提供が必要です。

(2) マイナンバーの取得

会社員の方や年金生活者がマイナンバーを取得するケースは一般的にはほとんどありません。事業者の方が支払者になる場合ではマイナンバーの取得を要します。例えば従業員に給与を支払う、税理士に申告手続きの報酬を支払うなどのほか、事務所や駐車場を借りて年間15万円以上の地代・家賃を支払っている場合は、大家さんや地主の方からマイナンバーを取得して法定調書を作成の上、税務署に提出しなければなりません。

このケースの場合はマイナンバーを教えてくれないことも想定されます。その場合は、「まず法律で決められてことを説明して説得しても、なお拒否された時は記録に残した上で、法定資料の提出先である税務署の指導を受けてください」とQ & Aにあります。

(参考) マイナンバー制度について詳しく知りたい方は次のホームページを参考にしてください。

◎内閣官房『マイナンバー社会保障・税番号制度』
◎国税庁『社会保障・税番号制度〈マイナンバー〉について』
◎国税庁『国税の番号制度に関する情報』
◎厚生労働省『マイナンバー制度(社会保障分野)』
◎個人情報保護委員会

5. マイナンバー制度の今後のスケジュール

(1) マイナンバー法

2016年1月からマイナンバーは社会保障、税、災害関連の3分野の行政手続で活用されています。ただ、2015年6月の日本年金機構の個人情報漏洩事件を受けて、年金との紐付けは最大1年5か月、基礎年金番号との紐付けは11か月遅らせることが決定されています。

(2) 改正マイナンバー法

マイナンバー法は2015年10月5日から施行されましたが、施行前の9月3日に早くも改正法が成立し、その施行は2018年からとなっています。主な改正内容は次の3点です。

①銀行口座への紐付け

当面は任意ですが、3年後の2021年には義務化の検討が予定されています。これは社会保障制度における資力調査(例えば、国民年金などの未納防止や生活保護費の不正受給の防止など)や税務調査に活用されます。また、金融機関破綻時の預金保険機構によるペイオフでの預金合算にも活用されます。

②特定健康診査(メタボ検査)

③予防接種の履歴

②、③では転居や就職、退職によって異動があっても自治体間、各健康保険組合間で情報が引き継がれ、情報共有されます。

(3) 今後の活用検討策

このほか、マイナンバー制度についてのマスコミ報道をみてみますと、次のようなものが検討されているようです。

①健康保険証

カルテやレセプトなどの医療情報に独自の医療番号制度を導入し、マイナンバーシステムと連動させることによって、加入健康保険組合や受診歴が分かるようになります。これによりマイナンバーカードが健康保険証として利用することができるとともに、医師が個人の診断結果や処方薬の情報を共有できることから二重の投薬や検査を避けることができます。

②戸籍・旅券

結婚や相続、パスポートの取得などで、手続時の戸籍謄本などの書類の添付が不要となります。

③税務申告手続きの簡素化

証券会社の特定期口座で株式などを取引されている方は取引履歴や配当金の支払通知書などの情報をマイナポータルに取り込んで納税手続きを簡単にすることが検討されています。

④たばこ自動販売機の年齢確認

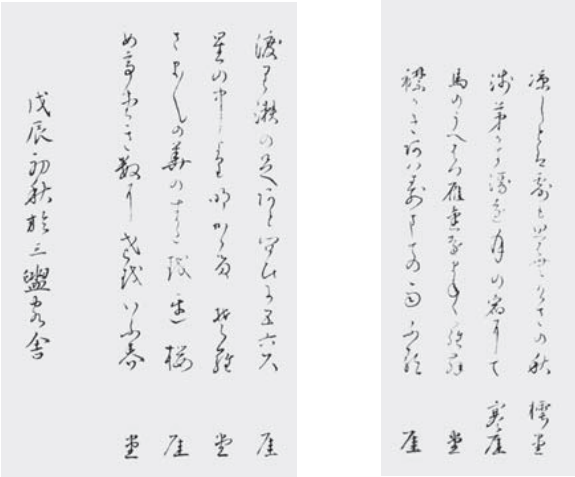
これはマイナンバーカードの民間利用の一例ですが、このほか社員証などとしても利用できます。今後、利便性の向上を図るため民間利用の拡大が大幅に進められ、将来はクレジットカードやキャッシュカードにも使用が可能となります。

(参考) 詳しくは、内閣府の「マイナンバー制度利用推進ロードマップ(案)」をインターネットでご覧ください。

江戸期を代表する松山の俳人・栗田^{ちよどつ}樗堂。正岡子規が「四国第一の俳人」と評価したとも言われます。酒蔵の主人であり、町人社会最高の役職・大年寄として活躍した樗堂がなぜ松山を離れ^{みたらい}御手洗島で人生の最期を迎えたのか。名利を否定して俳諧を楽しんだ栗田樗堂の生涯について、松山子規会副会長で樗堂研究者の今村威さんに書き下ろしで寄稿していただきました。

栗田樗堂の生涯

松山子規会副会長・元高校教諭 今村 威
(1956年 文理学部卒)



『山蟻集』より 能登の俳人寒厓との連句冒頭（右）と最後（左）（井手康夫氏蔵）。「三盃客舎」は御手洗の旅館の意

1. 三無益

文化4（1807）年のこと、栗田樗堂は、松山藩との関わりを厭い、広島藩領の御手洗島（現在の広島県呉市大崎下島）へ、永住することにした。松山俳壇の興隆を願って、寛政12（1800）年に創建したばかりの庚申庵を、惜しげもなく捨ててのことである。その庚申庵に、「三無益」と題する書が残されていた。

- | | |
|----------|-----------------------|
| 一、追善集無益 | やがて屏風の下張りとなる。 |
| 一、塚しるし無益 | 終には犬糞の掃き寄せ場となるなり。 |
| 一、追善会無益 | 但し湯豆腐の塩梅は思ひ出し次第の心まかせ。 |

大意は「もし私が死んでも、追悼の句集など作るのは、ご無用に願いたい。なぜなら、そのうちその紙が、屏風を作るときの下張りになるのが落ちである。また私の句碑を建てるのも止めてもらいたい。終いには、犬の糞の掃き寄せ場になるに違いない。最後に派手派手しい法要などというのは、お断りである。とはいえ、めいめいで湯豆腐を味わいながら、私のことを思い出してくれるくらいがいちばんいい」ということになる。

まことに、名利を否定して俳諧を楽しんだ樗堂の、面目躍如たるところであるが、文化11（1814）年に樗堂が御手洗島で没したとき、松山の門人たちを大いに苦しめることになる。もしこの樗堂の遺志を忠実に守ると、一切の追悼事業をすることができなくなる。当時全国の俳人ベストテンに入

れられていたほどの樗堂に対して、なんの追悼事業もしなかったというのでは、松山俳壇の名がすたるといえるものである。

追善集については、江戸俳壇の重鎮夏目成美（小林一茶の庇護者として知られる）の追悼文を得て、連句14巻からなる『山蟻集』を編纂したが、一冊だけ清書製本して、印刷刊行はやめた。成美は「海山遠く距ててはいたが、同じ志を抱いていたので、隣に住んでいる人のように親しく思っていた」と樗堂の死を悼んでいる。

句碑は、三津の門弟たちが、厳島神社内天神社境内に「桜塚」と名づけて、芭蕉と樗堂の桜の句を記す併せ句碑を建立した。

木のもとに汁も膾も桜かな	芭蕉
初桜花の世の中よかりけり	樗堂



『万家人名録』（文化10年刊）に掲載された栗田樗堂のページ

「樗堂さんも、尊敬していた芭蕉翁の、それも『かるみ』の句との併せ句碑なら、お怒りになりはすまい」との考えからであろう。「かるみ」とは、芭蕉が晩年に到達した境地で、俳句の奥義を究めた者が、初心に帰って作る、一見平易に見えて含蓄のあるものをいう。樗堂もその境地を理想としていた。

湯豆腐による追悼行事の記録は残っていないが、前の二つが実行されているので、行われたものと思われる。松山市史跡庭園庚申庵を管理し、樗堂の顕彰に努めている庚申庵倶楽部は、太陽暦の樗堂の命日10月4日に近い日曜日、樗堂を偲んで「湯豆腐忌」を催し、「湯豆腐の塩梅は思ひ出し次第の心まかせ」を実行している。

2. 大年寄

大年寄とは、松山藩によって任命される、町人社会の最高役職である。酒造業など大店の当主が、5人程度数年おきに交代で勤めていた。町民の安寧を司る役目で、一見名誉職のようであるが、折々の藩命を町人に徹底させたり、火事、行き倒れなど変事に際しては陣頭指揮を執り、始末を着けなければならず、多忙であったという。

樗堂の生家は、松山城北松前町の酒造業豊前屋で、主人は後藤喜右衛門昌信の二男（三男とも）として、寛延2（1749）年生まれ、通称貞蔵といった。17歳の時、南松前町の酒造業^{かど}廉屋の6代目栗田与三左衛門政賀が早世し、嫡男政篤が幼少

であったので、7代目与三左衛門政範として迎えらる。当時も健在の養父の5代目主人政恒は、俳号天山（砧山）と称し、阿沼美神社境内に二畳庵を営む俳人であり、妻の寄（三津の俳人松田^{さか}含芽の娘）も、羅蝶という俳人であったので、樗堂もこの頃から、俳諧をたしなむようになったと思われる。初め俳号を^{えんしつ}晩室のちに^{らんし}蘭芝といった。

蘭芝（樗堂）は明和8（1771）年、23歳で大年寄役見習いを勤め、25歳で大年寄本役となって以来、享和2（1802）年45歳で引退し、代わって先代の子政篤が大年寄役に任ぜられるまで、およそ30年間、休役の時も、病気の大年寄の代行を勤めるなど、ほとんど大年寄役を離れることがなかった。それは 蘭芝の人望が厚かったことにもよるが、27歳の時、松山藩から「銀札場所骨折」として褒美をもらうなど、松山藩の財政についても貢献していたからである。

3. 紀行文『つまじるし』（爪じるし） 蘭芝から樗堂へ

多忙な蘭芝に、珍しくまとまった自由な時間ができた。天明7（1787）年の春から夏にかけて、蘭芝は尊敬する芭蕉の遺跡をめぐる旅に出る。京都、大坂住吉、高野山、吉野、奈良、宇治、大原、比叡山、鞍馬、貴船、桂、嵯峨などをめぐった紀行文「つまじるし」が、師加藤 暁台（1732～1792）から激賞され、暁台七部集の一つとして、急遽出版されることとなり、蘭芝は全国にその名を知られる。暁台は、京都を拠点に、蕉風復興運動の中心となって活躍し、同時代の蕪村よりも名を知られた存在であった。「つまじるし」の序文で暁台は、蘭芝を『莊子』に登場する世界の海を自由自在に泳ぎ回る大魚にたとえて、風流三昧に生きる蘭芝の自由さを称えている。

『莊子』に、「樗」という大木の寓話がある。幹は瘤だらけ、



加藤暁台の墓（京都大原野 是住院）

論文紹介

枝は折れ曲がって、人間の役に立たない存在であったので、天寿を全うし、亭々とそびえ、吹く風に葉をそよがせている。この無用の大木に、蘭芝は心ひかれる。「無用」とは、人間が勝手にきめた「名利」という尺度から離れた存在であることを示している。自分はこれから、樗の木陰に休息している心境で、俳諧に遊ぼうと自覚する。そして俳号を「樗堂」「息陰」と改める。

4. 小林一茶との交遊

信濃の俳人小林一茶は、江戸俳壇の宗匠になろうという夢を抱き、二六庵竹阿の門に入り、修行の結果、竹阿から後継者の許しを得た。しかし俳壇から支持を得られなかったので、竹阿の旅した九州、四国、近畿を旅して、各地の竹阿の門弟や知人たちから支持を得て、後継者としての実績をあげようと、寛政4（1792）年から西国を旅していた。寛政7（1795）年1月15日、一茶は江戸の俳人として、樗堂の二畳庵を訪れる。早速巻いた連句「柳の巻」で、一茶は、松山の春を称える挨拶句を詠む。

水流れ鳥鳴き柳二三尺

それに応じて、樗堂は、一茶が無事到着したことを喜び、

風落ち日落ち春しづかなり

と詠む。これがふたりの風交の始まりで、文化11年の樗堂の死まで続く。文化11年の暮れ、一茶は江戸の宗匠になる夢をあきらめ、故郷に帰るに際し、江戸に別れを告げる著書『三韓人』を刊行する。そのあとがきに一茶は、樗堂からの最後の手紙を紹介し、「私にとって大切な人を亡くして、心が挫けたので、急いで信濃へ帰る」と記している。この時一茶は、樗堂が全国に知られる宗匠でありながら、松山、御手洗といった地方を拠点に、俳諧に尽くしたことに思いを致し、今後の己の生き方とし

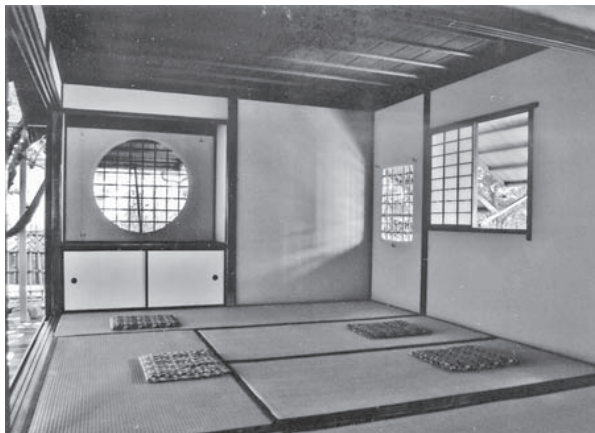
ようと決意したことを物語る。その後の一茶は、信濃の俳人として独自の境地を開き、江戸俳壇からも一目置かれる存在となる。

5. 「庚申庵記」

寛政12年^{かのえさる}庚申の年、樗堂は、自宅から^{ひつじさる}未申（南西）の方向にある古庚申と呼ばれていた地に、松山の俳人たちが交遊する場所として庚申庵を創建した。庚申庵には、上座下座を作らぬように床の間がない。また気軽に煎茶を楽しむための部屋も作られた。文化2（1805）年秋に書かれた「庚申庵記」の前半には、自然に取り巻かれて、ゆったりとした気分で、老後を楽しむ喜びが記されている。ところが後半になると一変して、加藤嘉明を例に、武士の生涯のむなしさを語り、最後では、庵の周りの田畑で働く農民たちが、年貢の重さに、作業歌も歌えぬほどに疲弊している姿に涙する。最後の句が

よしもなき名はただ曇れ秋の月

大意は「つまらぬ私の名誉など、直ぐにも見えなくなってしまう。そんな俗世に比べて、今宵の中秋の名月は、なんと清らかに人の世を照らしていることであろう」となろうか。実はこの句には背景がある。文化2年8月、大年寄を勤めていた義理の息子政篤が病死する。政篤危篤と聞くと、松山藩は、栗田家に大年寄上の最高位と20人扶持を与える。樗堂の大嫌いな名利でつり、樗堂の大年寄復帰を期待したのである。そうして「よしもなき名はただ曇れ」の句がうまれ、樗堂は御手洗島へと去るのである。



床の間がない庚申庵

6. 御手洗行

享和2（1802）年7月末から8月中旬にかけて、樗堂は、御手洗島の満舟寺に滞在する。芭蕉百回忌にあたり、直筆の句を^{たましろ}霊代として埋め、境内に建立された芭蕉塚に参るためである。

海暮れて鴨の声ほのかに白し

の句によって、「誰彼塚」とよばれる句碑に、樗堂は滞在中、朝夕詣でて香を手向け、未だ芭蕉の精神に遠く及ばないことを反省した。

御手洗の港は、対岸の伊予の岡村島との間の海峡が、潮流の激しい瀬戸内にあるにもかかわらず、最大2、3ノットという穏やかさで、潮待ち風待ちの港として優れ、諸藩の船宿もあり、商人ばかりでなく、文人墨客の往来も盛んであった。享和2年以後、樗堂は避暑を口実に、御手洗滞在を楽しみ、御手洗を訪れる俳人や御手洗の俳人たちと連句を巻くこと17巻に及ぶ。そして文化4年には、避暑に出かけたまま帰らなかった。

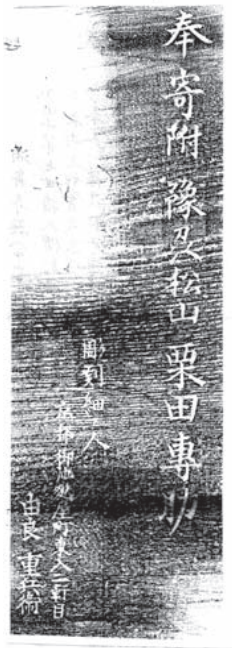
明治の末年、子規の友人村上霽月が、樗堂の墓参りに御手洗を訪れた際、祖父が樗堂と親しかったという島民から、「樗堂は、旧松山藩では殊の外士人の威権過大であって、町人百姓は往々無理な圧制を蒙っているのを不快として、広島藩の士人の比較的威張らないこの地に来たのだろう」と聞いたという。（『霽月句文集』464ページ）

樗堂が永住した文化4年から、没する文化11年までの8年間に、御手洗の俳人や、御手洗を訪れた俳人と巻いた連句は、65巻に及ぶ。全国各地から来訪の俳人30人余の中には、俳人番付表にも乗らない無名の人もいたが、樗堂はそうした人たちとも、分け隔てなく、風雅を楽しんでいる。

文化9年夏、御手洗の門人鹿門、才馬等が中心になって、樗堂の俳句304句を集めた句集『萍窓集』^{ひようそう}を出版してくれる。あとがきには、「もし選句に誤りがあれば、それは我々の未熟さの故であって、百叩きの罰を受ける覚悟である」と書かれていた。樗堂に対する愛情と信頼ゆえの自信であろう。「萍」とは浮き草、「萍窓」とは旅人の仮住まいの意である。樗堂は御手洗に永住しながらも、旅人の立場を貫いた。満舟寺に寺名の扁額が懸かっている。琉球使節一行が御手洗に一泊した際、一行の中の能書家梁光地に、樗堂が依頼して書いてもらったものである。裏面には、奉納者と

して「予州松山栗田専助」と記されていた。「専助」とは、廉屋（栗田家）主人の隠居名である。

樗堂はなぜ、旅人としての生き方を固く守ったのであろうか。それは、「古人も多く旅に死せるあり」と、旅に死んだ芭蕉の生き方を守ったからである。かつて樗堂が、名利を捨てて、松山から御手洗へ移住した折、俳人たちは、芭蕉が名利渦巻く日本橋を捨てて、深川の芭蕉庵へ移住したことに喩え、尊敬した。今また旅先の御手洗に没したことで、樗堂を敬慕する思いが全国に広がった。全国俳人名鑑ともいべき『^{ばんか}万家人名録』の樗堂のページ（20ページ写真）には、樗堂の肖像画と代表句「花盛り散るより外はなかりけり」に併せて「栗田氏号息陰又二畳庵予州松山人遊于芸御手洗」と書かれている。「遊于芸御手洗」とは「安芸の御手洗に旅している」の意である。そして「文化十一甲戌八月廿一日卒」と書き加えられた。「卒」は「死す」の意である。「樗堂旅に死す」が特記されたのである。墓は御手洗満舟寺と栗田家の菩提寺松山市萱町4丁目2番3号の得法寺にある。



満舟寺掲額裏拓本「奉寄付予州松山栗田専助」



栗田樗堂の墓（御手洗満舟寺）

日時：平成28年 11月12日(土) 13:00～19:00

参加料無料
要事前申込

13:00 ～ 同時開催イベント

学部のイベントおよび同窓会（各団体で計画）
施設見学（愛大ミュージアム見学、植物工場見学）

15:00 ～ 式典（南加記念ホール）

司会：合田みゆき氏（フリーアナウンサー 教育学部卒）

[第1部] 15:00 ～

・学歌斉唱・・・合唱団
・学長挨拶・・・大橋裕一学長
・新学部紹介・・・西村勝志社会共創学部長
・特別講話・・・高橋治郎名誉教授

[第2部] 16:15 ～

・サークル紹介・・・チアリーディング部
・スペシャルコンサート・・・ダンディーズ&附属小学校コーラス部

17:15 ～ 懇親会（大学会館1階）

・学生団体の実績報告
・抽選会

◎節目の卒業生に当日愛大ショップえみかで利用できる商品券（1,500円）をプレゼント

卒業後10年目から5年ごとの節目の卒業生
昭和32年卒、37年卒、42年卒、47年卒、52年卒、57年卒、62年卒、平成4年卒、9年卒、14年卒、19年卒
※詳細・申込方法等は愛媛大学校友会HP（<http://koyu.ehime-u.jp/>）をご確認ください。

出願期間(予定)

○教養学部・大学院（修士選科生・修士科目生）
4月入学：第1回募集 12月1日～2月28日
第2回募集 3月1日～3月20日
10月入学：第1回募集 6月15日～8月31日
第2回募集 9月1日～9月20日
○大学院：修士全科生（年1回募集・選考試験あり）
8月中旬～8月下旬

多彩な放送授業約300科目。1科目からでも学べます。

資料を無料でさし上げております。お気軽に、愛媛学習センターにご請求ください。

放送大学

検索

〒790-0826 松山市文京町3番
放送大学愛媛学習センター
TEL 089-923-8544

Q&A

Q「会報及び同窓会に対するご意見・ご感想」でいただいたご意見について回答いたします。

A岡山においても開催してほしい。
山口での同窓会開催の予定はありませんか？
現在、中国地区は広島支部がカバーしていますので、お問い合わせください。
広島支部の連絡先：
事務局長 難波宜久 携帯 090-7777-6671
又は、あさがお司法書士事務所
品川 瑞 TEL/FAX 082-208-5886

Q九州支部があったらいいなー。
九州支部がないのが残念です!! 絶対数が少なくてもまとまると思うのですが……。
A残念ですが、現在、九州地区をカバーする支部はありません。九州在住で、世話人になっていただける方がいれば、設立が可能になるかもしれません。

「第16回愛媛大学学生による調査・研究プロジェクト(プロジェクトE)研究成果発表会」を開催しました

2016.6.16(木)

平成28年6月16日(木)、愛媛大学総合情報メディアセンターメディアホールで、「第16回愛媛大学学生による調査・研究プロジェクト(プロジェクトE)研究成果発表会」を開催しました。

本プロジェクトは、平成12年度から始まり、学生が大学から経費の支援を受け、約10ヶ月間をかけて日頃興味を持っているテーマについて自主的に調査・研究を行うものです。平成27年度は、24件の応募の中から16件のテーマを採択しており、今回、その集大成として研究成果発表会を開催しました。

まず始めに、弓削俊洋教育担当理事・副学長の挨拶があり、その後、第1部のポスターセッションでは、全16チームがそれぞれ趣向を凝らした方法で、90分間の発表を行いました。各学部の教育コーディネーターによって、研究成果や調査・研究の工夫、プレゼンテーション等の視点から審査を行い、上位4チームがプレゼンテーション発表会に進みました。

第2部のプレゼンテーションでは、選ばれた学生たちが緊張しながらも、これまで頑張ってきた調査・研究の成果を分かりやすく伝えようと発表を行い、参加者は真剣に耳を傾けていました。

最終審査の結果、農学部の利根徹哉さんを代表とするグループの課題名「生ゴミから野菜へ繋げる循環システムの構築への挑戦」が最優秀賞を受賞しました。利根さんたちのグループは、インドネシアへの訪問経験を踏まえて課題を設定し、新居浜市で調査・研究したコンポスト（有機物である生ゴミを微生物によって分解した肥料）をインドネシアに広める取組を行って得た成果を発表するとともに、今後も野菜づくりまで繋げていきたいと熱い想いを述べました。

最後に、総括として、小林直人学長特別補佐から「このプロジェクトEに応募して選ばれたことに誇りを持って、学んだことや経験したことを今後の活動に活かして欲しい」と、学生に向けて激励の言葉がありました。



ポスターセッションの様子

参加者の集合写真

	課題名	代表学生所属・氏名
最優秀賞	生ゴミから野菜へ繋げる循環システムの構築への挑戦	農学部2年 利根 徹哉
優秀賞	インドネシア産カカオと愛媛の食材を生かしたグローカル・チョコレート開発ー大学・地域・企業との連携による実践と地域貢献ー	工学部2年 清水 美朗
努力賞	ゲーミフィケーションを用いた大学生向けキャリアデザイン教材の開発ーボードゲーム「愛Compass」の作成ー	法文学部3年 藤山 育
	日本遺産・四国遍路をめぐるリビング・ヘリテージの再評価と情報発信ー内子町臼杵を事例にー	法文学部2年 倉瀬 博成
	クロロフィルa/b比を用いた生育診断	農学部4年 荒瀬三千丈
アイデア賞	チョークとホワイトボードマーカーはどちらがより良いのか	教育学部3年 内田 優花
	藍染め伝統文化の次代への継承	教育学研究科1年 小澤 優樹

平成27年度「愛媛大学公開講座 in 西条市」を開催しました

2016.2.20(土)

平成28年2月20日(土)、西条市役所大会議室で、平成27年度「愛媛大学公開講座in西条市」を開催し、観光関係の社員をはじめ、愛媛県東予地方局、西条市の職員、市民、本学の学生など約130人が参加しました。

この公開講座は、地(知)の拠点整備事業(COC事業)として「地域の再生を担う実践的人材の育成」を目的に、学生から社会人まで地域の方すべてを対象としています。

今回は、「瀬戸内文化圏における西条市の文化資源と観光」をテーマに、本学法文学部の井口梓准教授及び法文学部人文学科観光まちづくりコースの学生16人が、「西条市における地域文化を活かした広域観光の可能性」と題して、フィールドワークで調査した結果を基に作成した観光マップ（8つの物語で旅する新しい西条）について、発表しました。

また、休憩時間には、学生による「ポスターセッション」を実施し、西条市氷見福祉協会障害者事業所ピースの皆様の協力を得て、全国でも珍しい二段発酵茶である「石鎚黒茶」の試飲会を行いました。

続いて、本学地域創生研究センター長の寺谷亮司教授が「西条市における飲食文化」について、東アジア古代鉄文化研究センター長の村上恭通教授が「西条市における歴史遺産」について発表し、その後、「瀬戸内文化圏における西条市の文化資源と観光」をテーマにパネルディスカッションを行い、広域観光の可能性について提案がありました。

また、学生や教員を対象に、四国最大級の直販所「周ちゃん広場」、『酒は料理の脇役であれ』を信条としている「成龍酒造」の見学を実施しました。



学生らの発表の様子

法文学部人文学科観光まちづくりコースの4年生が「学生観光プランづくりコンペ」で「優良賞」を受賞しました

2015.11.20(金)

平成27年11月20日(金)、札幌国際ビル国際ホールで開催された「学生観光プランづくりコンペ」で、法文学部人文学科観光まちづくりコース(観光文化系)4年生の小池佑太さん、河合彩花さん、玉里壮司さんが「優良賞」を受賞しました。

このコンペは、公益社団法人北海道観光振興機構(北海道共催)が、全国の大学、専門学校の学生を対象に、着地型観光メニューの企画を募集したもので、全国から45チーム(47プラン)の提案がありました。旅行プランは、道東地区(オホーツク、十勝、釧路、根室)を対象とし、実現可能性の高い観光メニューは、商品化、事業化の検討が行われます。

1次書類審査を通過した上位5チームが、9月に行われた3泊4日の実地調査に参加し、その成果を発表する最終プレゼンテーションに臨みました。

本学のチームは、法文学部人文学科の井口梓准教授の指導を受け、蝦夷地探検を行った松浦武四郎の調査軌跡とアイヌ文化の記録をたどる旅行プラン「新『武四郎物語』で花咲く道東の旅ー本読みて また立ち出でん旅心」を提案しました。まもなく北海道(改称)150周年を迎えるタイミングで、命名者である松浦武四郎とアイヌ文化を取り上げ、その功績を掘り下げて再評価した点や、武四郎の記した日誌と地図を旅行プランに活かした斬新さ等が高く評価され、今回の受賞に至りました。



(左から) 玉里さん、小池さん、河合さん



現地調査



最終プレゼンテーションの様子

松山東警察署と大規模災害時における連携協力協定を締結しました

2016.4.20(水)

平成28年4月20日(水)、大規模災害等の有事の際に、松山東警察署が代替施設として、本学の施設、設備を使用すること等に関する連携協力協定を締結しました。

今回の協定は、松山東警察署の庁舎が被災して使用できなくなった際に、同署の要請により、大学としての機能を維持しつつ、非常災害警察本部の設置場所として、本学の施設、設備を使用するというものです。

本学本部において行われた締結式では、大橋裕一学長が「災害発生時に、大学組織と警察組織が密接な連携を図ることは、地域住民のみならず、大学にとっても大きな安心材料となるはず。この取組で地域と大学の連携の輪を拡げ、地域貢献に努めたい」と述べました。また、谷村日出男署長から「巨大地震等の大規模災害に備え、関係機関団体をはじめ、市民の皆様方とも連携した各種防災対策を進めるとともに、間隙を生じさせない災害警備実施を実現するため、各種対策にしっかりと取り組んでいきたい」と挨拶があり、協定書に署名を行いました。



大橋学長からの挨拶



署名する大橋学長と谷村署長

「第6回愛媛大学ホームカミングデー」を開催しました

2015.11.14(土)

平成27年11月14日(土)、城北キャンパスで「第6回愛媛大学ホームカミングデー」を開催し、卒業生、本学学生及び教職員合わせて約320人が参加しました。

ホームカミングデーは、卒業生の皆様や教職員OBの方々にお越しいただき、大学の施設見学等や同日に行われた学生祭にも参加いただくなどして、母校へのご理解を深めていただくことを目的としています。

当日は、愛媛大学ミュージアム及び農学部樽味キャンパスの植物工場の施設見学等の同時開催イベントを実施し、多くの方にご参加いただきました。

式典では、学歌斉唱の後、大橋裕一学長から挨拶と本学の近況報告があり、続いて、法文学部附属四国遍路・世界の巡礼研究センター長の寺内浩教授が「四国遍路を楽しむーチャレンジ1400kmー」と題して、特別講演を行いました。また、工学部卒業生で株式会社ジョイ・アート代表取締役の越智陽一さんによる卒業生挨拶、チアリーディング部及び合唱団によるサークル紹介が行われました。

式典後に大会会館で行われた懇親会では、硬式野球部、女子サッカー部、合唱団の代表者が、学生団体活動報告を行いました。また、南予水産研究センターで研究開発を行っているスマの握りの試食会、愛大オリジナルグッズの詰め合わせが当たる抽選会が行われ、大いに盛り上がりしました。今回の懇親会も県内外から多くの愛媛大学関係者が参加し、改めて親睦を深めることができました。



大橋学長挨拶



学歌斉唱



寺内教授による特別講演



越智氏による卒業生挨拶



チアリーディング部によるサークル紹介



抽選会の様子



学生団体活動報告



スマの試食会の様子

法文同窓会チーム

お城下リレーマラソンを疾走!

2015(平成27)年10月10日(土)、松山市堀之内で開催された「マツヤマお城下リレーマラソン」に法文同窓会チームが参加しました。男女混合の健脚7名が1周約1.5kmのコース28周を交代しながら走り、見事完走。お揃いのTシャツで団結し、290チーム中172位という好成績を収めました。2016年は10月15日(土)、8名で記録更新を目指します。どうぞご期待!

42.195km

3時間33分32秒
172位/290チーム



完走証



快走メンバー。(左から) 寒作典員 住友良光 小林紀子 高田敬士 鳥生勉蔵 山本司 大塚英俊の7名

Q&A

「会報及び同窓会に対するご意見・ご感想」でいただいたご意見について回答いたします。

Q 学科の同期の名簿を提供してほしい。
A 同期の名簿がほしい。同窓会のHPの「規約」中、「情報提供規程」で定めておりますのでご確認ください。(会の参加対象者と会の予定日時及び場所を届け、会の案内以外に使用しない旨の誓約書を提出いただければ、氏名及び住所に限り情報を提供します)

Q 在学した60年前の母校の跡を観たいと思う。可能か?
A (旧松高跡) 附属学校事務課に問い合わせたところ見学可能とのこと、直接ご質問者に連絡していただくことになりました。附属学校園持田チーム：089-913-7840

Q 夜間主コースとは別の「社会人枠のコース」というのは愛大にありますか?
A 入試課に照会したところ、再入学をご希望でしたら大学のHPに記載した募集要項をご参照くださいとのことでした。

なお、各学部にて聴講制度があります。また、放送大学愛媛学習センターに入学されるという方法もあります。

教育支援課法文学部チーム：089-927-9220
 放送大学愛媛学習センター：089-923-8544

同期会 姫路城見学を兼ねて15名が集う

1970(昭和45)年 文理学部人文学科(乙)卒業



姫路城をバックに

「友あり遠方より来る、また楽しからずや」——平成28年4月11日、兵庫県姫路市で有志15名が集い同期会を開催しました。前年の大阪の集いで、次回は姫路と決まり、平成の大改修で装いも新たになった姫路城の見学も兼ねてもらおうと計画しました。

案内は、前回・大阪の参加者10名をベースに、姫路に近い人や同じゼミ生に送りました。参加者15名の内訳は、法律10名、経済5名。西は九州から東は岐阜県まで、広範囲から参加しました。参加者の中には卒業以来、40数年ぶりに再会する人もありました。

姫路駅で集合、迎いのマイクロバスで夢前町にある「ニューサンピア姫路ゆめさき」に移動し、早速、食事をしながら懇親会。温泉に浸かってゆっくりしてもらうはずが果たせず。懇親会では各人の近況報告として、卒業後あるいはリタイア後の、元気で挑戦的な生き様を聞き、本当に感動しました。

その後、桜の花が未だ残る姫路城を見学しました。リニューアル後の姫路城は、連日多くの人々が国内外から訪れています。

今回は有志という形でしたが、次回は母校のある松山で、同窓生全員を対象にという話も出ました。今回の開催にあたり、小池さん、清水さんから同窓生の情報を提供して頂くなど大変お世話になりました。文乙卒の各位のご健勝とご多幸を祈念し、再会を楽しみにしています。(白井 正敏)



桜の残る姫路城内を見学



(後列左から) 天羽茂喜 竹内譲二 宮脇紀行 上甲新平
小池昭彦 内田克己 居郷正伸 佐原晴記
(前列左から) 前田 拓 越智裕明 梶本六夫 清水秀幸
白井正敏 矢田 暁 杉浦 孝

半世紀ぶりのキャンパス

1967(昭和42)年 文理学部人文学科(乙)卒業

平成27年10月6～7日、道後温泉「ふなや」で開催しました。同期卒業83名中21名が出席し、旧交を温めました。翌朝、幸運にも松山秋祭りとなり、華麗な宮出しに続き、豪快な神輿の鉢合わせも見物できました。城下町松山の元氣も楽しみました。

そして約半世紀ぶりに、思い出の母校キャンパスを訪問。建ち並ぶ教棟、生い茂った樹木に、改めて歳月の流れを感じました。大学では、加藤法文学部長から社会共創学部新設など教育改革の現状等について説明を受け、現役女子学生から愛大ミュージアム等の案内をして頂きました。母校の活躍ぶりを心強く思うとともに、さらなる発展を期待して大学を後にしました。

突然の訪問にもかかわらず、快く接して頂いた皆様に、心からお礼申し上げます。(黒田 雄二)



5年ぶりに、文学科昭和50年入学同窓会を開催しました

1979(昭和54)年 法文学部文学科卒業



去る2016年3月19日(土)、5年ぶりに文学科昭和50年入学の同窓会を開催しました。前回は5年前の12月に20名が集まり、愛大ミュージアムの見学後に学内の「セトリアン」で開催しましたが、今回は大きく変わったキャンパス見学後に、15名の参加を得て市内の「すし丸」で開催しました。

参加者は前回に比べて少し減少しましたが、新しい参加メンバーも加わって、定年を控えた年代にふさわしく2次会まで人生もいろいろ語り合える同窓会となりました。

この世代は1975年に入学し1980年前後に社会に出て、「バブル」とその後の「失われた10年」を経験し、「IT時代の到来」から「グローバル」「地域創生」時代への変化の中で、3つの大きな震災も経験して、20世紀から21世紀の激動の時代を生きてきた世代です。皆さん大学時代の学びと経験と人のつながりを糧に生きて

きた人生を実感しており、懐かしい思い出を語る場にもなりました。

参加した永尾真一さんの温かい御礼の手紙を紹介してご報告とします。(山本 求)

前略 一昨日の同窓会の企画・運営をしていただき誠にありがとうございました。「すし丸」のお料理・お酒とも美味しかったし、皆さんの大学卒業後の事もよくわかり、懐かしい顔も拝見でき、誠に楽しいひとときを過ごせました。(中略-山本) これもひとえに幹事の方々の温かいご配慮の賜物と感謝しております。重ねて御礼申し上げます。

ただ、年齢を重ねると頭が固くなり、自分の勤務先の自慢ばかりして、皆様の聲を聞いていたのではないかと思います大変申し訳なく存じます。

昨日は「松山城二の丸史跡庭園」を見学し、そこから城主が登城したといわれる西側の坂を上り「松山城」を見学、その後、愛媛大学内の「ミュージアム」で展示されている「子規以後の人々」展で河東碧梧桐や高浜虚子、下村為山等の書画を鑑賞、その後、道後温泉を訪ね、女性だけの御輿を眺め、足湯に浸かり、「湯築城」を見学、松山空港から帰路に就きました。

昼食の「伊予さつま飯」「道後地ビール」も美味しかった。

今回の同窓会を励みにして、教職生活ラスト1年を疾走していきたいと思っています。その意味でも有意義な同窓会でした。

誠にありがとうございました。

法文学部文学科卒 永尾

Photograph around Campus



共通講義棟B(元法文学部講義棟)



正門横の桜



南加記念ホール(元記念講堂)



西村学部長あいさつ



小池同窓会長祝辞



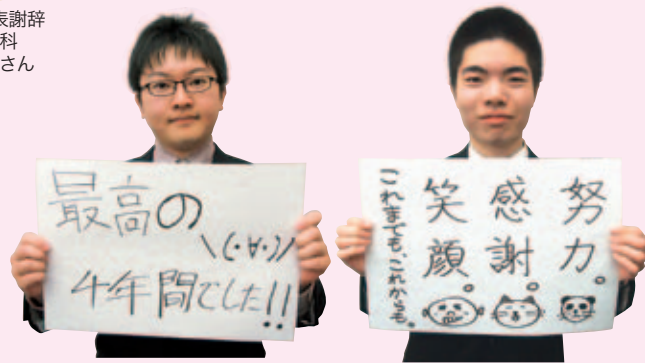
三木奨学賞受賞者
総合政策学科
徳永元哉さん



卒業生代表謝辞
人文学科
白岩優愛さん

卒業生数

- ◆総合政策学科
昼間主286名 夜間主66名 (計352名)
- ◆人文学科
昼間主139名 夜間主43名 (計182名)



総合政策学科



加藤人文系担当
学部長の乾杯発声



締めの挨拶
竹内康博教授



人文学科



愛媛大学チアリーディング部

TRUSTARS

大野 亮汰さん [総合政策学科4回生]

2016年1月26日、日本テレビ報道番組『news every.』メインキャスターの小山慶一郎さん（アイドルグループ「NEWS」リーダー）担当コーナー『明日へのキボウ 注目を力にする』で、愛媛大学チアリーディング部 trustars(トラスタース)の唯一の男性部員、大野亮汰さんが紹介されました。

Q 全国ネットで放送され、是非とも法文学部同窓生の皆さんにもご紹介したいと思い、お声掛けさせていただきました。放送後の周りの反応はありましたか？

A はい、TVを観た友人に声を掛けられました。夕方の放送だったので、授業で観ていないひとも多く、“あ〜あのひとだ〜!”という反応まではありませんでした(笑)。

Q そもそも、なぜ男性がいない女子ばかりのチアリーディング部に入ろうと思ったのですか？ 何かきっかけがあったのですか？

A 東京の友人とたまたま行った文化祭などで、早稲田大学の男性チアリーディング部「ショッカーズ」や他の男女混成チームの演技を、生や動画で観る機会があって興味を持つようになりました。実際、自分がチアリーディングをすることは無理だろうと思っていましたが、3回生になったとき、元部長の倉田さんに誘ってもらい、そこから「やるしかない」「残り少ない大学生活、何か残ることをやってみよう」と思い、入部するに至りました。

Q 入部のときの女子メンバーの反応はいかがでしたか？

A 部員数が少なかったので思いの外歓迎してくれました。はじめは圧倒されましたが、皆が優しくしたので馴染むことができました。

Q イメージでは、チアリーディングって、身体が触れたりぶつかりあったりすることが多いと思いますが、そのあたりもすぐに慣れましたか？

A 最初は本当にいいのかな？ と、とまどいやためらいもありましたが、触れないことには何もできない……みんなが信頼してくれた分、一生懸命やらないといけないと、割り切って必死で頑張りました。

Q そんな中で特に苦労したことはありますか？

A 男子ひとりということで、ハードルが少し高くなる分、求められることも高かった……。男子だからこそ、努力したところは大きいです。

Q 嬉しかったことは？

A なかなかできない体験だと思っているので、エミフル等でのイベントや大会、愛媛大学野球部の応援、マングリンパイレーツの応援等、演技や出場したときに、やっていて良かったなと思います。

Q 番組の中でキャスターの小山さんが“大野さん勇気ある!! 興味だけでは続けられない、チームの個性になっている”とコメントされていましたが、それを聞いてどう感じましたか？

A 的を射た事を言ってくださったと思いました。どうしても男性ひとりで注目されるところを、この時のコーナー『注目を力にする』という名前通り、自分の力にしていきたいと強く思いました。本当に良い事を言ってくださいました。

Q 部活を含め、普段はどのような生活を送っていますか？

A 日中は授業に行って、18時頃から練習に行きます。終わるのが21時頃、遅いと22時頃になることもあります。実家暮らしなので、終わると家に帰ってそこからご飯を食べて一日終了です。だいたい部活は週3回程なので、練習のない日はバイトに行きます。公民館等での小さな子供向けの英語塾や、スーパーでアルバイトをしています。大会前だとバイト先で融通を利かせてもらい、部活優先で過ごしています。

Q 頑張った分、今後の就職活動でもこの経験を生かすことができますか？

A 男子チアリーディングの前例がないので分かりませんが、試験には役立てたいと思っています。

Q 最後に、法文学部生で良かったと思うことは？

A 他の学部比べてコマ数が少なめで、自分のしたいことに時間をかけて挑戦することができます。同じ学部の友人も、留学について先生が相談にのってくれているのを見ると、本当にいい環境で学んでいると感じます。残りの大学生活も有意義に過ごしていきたいと思っています。

(インタビュー 後藤珠希)



関東支部 [東京章光会]



東京章光会の平成28年度第52回定期総会は7月9日(土)に東京・大手町の「サンケイプラザ」にて開催されました。

総会当日は松山より法文学部長の加藤好文教授、法文学部同窓会本部の小池昭彦会長、また、法文学部同窓会関西支部、同四国支部、同広島支部、他学部同窓会東京支部他より多数のご来賓にご出席いただき、51名の出席者をもって開催することができました。

生憎の雨模様のなか、当支部の厳しい財政状況を鑑みて会費を増額させていただいたにもかかわらず、出席者数が昨年度の第51回総会を上回ったことは、100周年へ向けて着実に前進していることをあらためて実感させてくれました。

総会では、阿部会長の挨拶の後、平成27年度活動報告、平成28年度活動計画ならびに平成27年度決算報告・監査報告、平成28年度予算案につき、荒木副会長他から報告・説明があり、何れも満場一致で承認されました。また、愛媛大学が四国代表として出場しました第65回全日本学生野球選手権大会の様相(三宅監事作成)が報告されました。

続いて大村事務局長補佐の総合司会のもと開催された懇親会では、加藤法文学部長(昭和50年卒)によるご挨拶及び新「法文学部」テイクオフ・シンポジウムに関するご説明、小池同窓会長によるご挨拶及び乾杯のご発声の後、懇親に入りました。

「葛飾フィルハーモニー管弦楽団」に所属されている佐藤欣三氏(昭和61年卒)、高田賀夫氏(平成4年卒)、同楽団の小野弘達様(明治大学卒)・小野祐子様(静岡大学卒)ご夫妻による弦楽四重奏演奏会、松山市東京事務所の高垣主任(平成19年卒)による松山市のPRの後、浅野幹事長補佐と森原幹事役の司会による恒例の福引抽選会をはさみ、森脇副会長による閉会の辞をもって総会は盛会のうちに幕を閉じました。

100周年を目指して来年度はより多くの会員の方々、幅広い年代の方々に参加していただけるよう、役員、幹事一同努力していきたいと思っております。

東京章光会 事務局 西迫和則

東京章光会連絡先

Tel・Fax 03-3877-4677

(愛媛大学サテライトオフィス東京内)

関西支部 [にきたつ会]



にきたつ会は平成28年7月3日(日)に、大阪市のブリーゼ・プラザにおいて平成28年度定時総会を開催いたしました。

気温35度を超える猛暑の中、ご来賓には法文学部長・加藤好文先生、同窓会本部・小池昭彦会長、松本長彦副会長、東京章光会、四国支部、広島支部の代表のご出席を賜り、また会員の皆様方にも多数ご出席いただき盛大に開催することが出来ました。本当に有り難うございました。

定時総会は、決議事項を報告の後、盛大な拍手で原案通りご承認いただきました。

講演は、当支部副会長の澤井達夫氏から「マイナンバーカード」について講演をいただき、出席者一同熱心に耳を傾け質疑応答等も活発に行われて、有意義な時間を過ごしていただけたと考えています。

メインイベントの懇親会は、ご挨拶をかねて、加藤学部長から新法文学部の展望等のご紹介や記念講演会について、小池会長からはこれからの同窓会の在り方や取り組み等についてお話をいただきました。その後、出席者の自己紹介や11月開催予定のウォーキングについての説明等も行われ、皆さんご歓談や食事にと和やかに話が弾む中、総会開始から予定の3時間は瞬く間に過ぎ、来年の再会を約して終わりを迎えました。

最後に、にきたつ会の直近の状況をご報告いたします。財政面では以前から余裕のない状況が続いていましたが、健全財政の目標としていました年間予算程度の蓄積が達成出来ました。ここに感謝の意をこめ、総会ご出席の皆様、ささやかながら愛媛県産のお土産を用意させていただきました。引き続き健全・活発な運営に努めてまいりますので、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

また、本年度の総会の出席予定者が久々に40名を超えて(病欠者3名)、さらに盛会になるよう趣向を凝らしてまいりたいと考えています。今後とも、一人でも多くの会員の方が、一人でも多くのお友達をお誘い合わせのうえご出席いただきますようお願いいたします。来年の定時総会でお会い出来ることを楽しみにしています。

にきたつ会 幹事一同

関西にきたつ会連絡先

支部長 岡本正明 Tel 0742-34-0190

広島支部



第11回総会を平成27年10月31日(土)『広島ガーデンパレス』にて45名の参加者で開催しました。

当日は、大学から西村学部長(当時)、同窓会本部から小池副会長(当時)、東京章光会から西迫事務局長、関西支部にきたつ会から岡本支部長、四国支部から玉井副支部長、そして平成25年に退官された本田先生が駆けつけてくれました。

また、講演については西村学部長から『愛媛大学、変わる』という題目で、大学間競争の中で、愛媛大学も地域に根ざした教育の在り方を模索されている状況をご説明いただきました。

その後の懇親会においては、昭和35年卒楠本淳顧問による乾杯の後、ハープとギターの演奏を楽しんだり、今回ご都合で参加できなかった方々からのメッセージを配布させていただいたりして、とても楽しい会となりました。

最後の締めくくりでは、応援団出身の昭和60年卒道田祥隆氏のエールに続いて、『愛媛大学学歌』、逍遙歌『若葉の古城』『三光寮を歌う』を声高らかに歌い上げた後、昭和32年卒松室龍彦氏の中締めで、名残を惜しみつつ、来年もまたお会いしましょうと散会となりました。

世代を超えた交流を通じて、より同窓会の意義を高めていただいたように思います。

さて、今年度は平成28年11月5日(土)11時半～14時半まで広島宇品港から出港する『クルージング船銀河』にて宮島・広島湾内をランチクルーズしながら開催する予定で、広島駅から宇品港へのマイクロバスも準備しています。

広島支部では法文学部だけでなく、工学部や農学部・教育学部・理学部などの出身者も参加されていますので、みなさまお誘いあわせのうえ多数のご参加をお待ちしています。

役員

顧問	竹本 義昌 (昭和33年文理学部 人文乙卒)
顧問	楠本 淳 (昭和35年文理学部 人文乙卒)
支部長	岡田 禎之 (昭和40年文理学部 人文乙卒)
事務局	難波 宜久 (昭和62年法文学部 法学 卒)
幹事	村上 道機 (昭和43年文理学部 人文乙卒)
幹事	梶原 勝 (昭和63年法文学部 経済 卒)
幹事	品川 瑞 (平成5年法文学部 法学 卒)
幹事	松本 亜紀 (平成5年法文学部 法学 卒)

(事務局連絡先) 難波携帯 090-7777-6671またはあさがお司法書士事務所内品川 Tel/Fax 082-208-5886

四国支部



平成27年11月28日(土)、昨年度は3年に1度の本部総会開催のため、例年のような単独の総会はせず、本部との共催で行いました。

また、平成28年4月2日にすし丸本店(松山市二番町)でお花見を開催しました。

第11回 四国支部総会のご案内

日時: 平成28年11月12日(土) 12時より

場所: ビュアフル松山(松山市宮田町)

JR松山駅 徒歩2分

Tel 089-945-6011

会費 5,000円(懇親会)

※初参加の方を含む複数の方のグループ参加者にプレゼントを用意する予定。

記念講演会

テーマ 「75歳の大学院生」

講師 眞鍋八洲雄氏

昭和37年3月、文理学部人文乙卒業

元南海放送取締役

記憶力の大幅な減退や読書スピードの低下など、高齢者であるが故の負の条件を背負って、修士論文に挑戦した老大学院生の3年間の苦楽を報告する。

第7回 四国支部お花見のご案内

日時: 平成29年4月8日(土) 14時より(2時間予定)

場所: すし丸本店(松山市二番町2-3-2)

大街道二浪証券すぐ

Tel 089-941-0447

会費: 3,000円



四国支部事務局連絡先

〒790-0047 松山市余戸南1-6-26(玉井方)

Tel 089-973-5048

担当: 副支部長 玉井周平 携帯 090-8973-7650

E-Mail: tousui78@yahoo.co.jp

※法文学部法学科74年入学(後半)の皆さんの同窓会を予定しています。

平成29年5月13日(土)14時より すし丸本店にて

会費 5,000円 案内希望者は四国支部・玉井まで

支部紹介 東京章光会

昭和40年発足 52年の歴史

法文学部同窓会は、本部の他に東京・大阪・広島・四国の4つの支部があります。愛媛大学の他学部と比較すると支部数は少なめですが、それぞれ年1回の総会以外にも会員相互の親睦を図るイベントを開いています。その中から今回は東京章光会の活動を紹介します。

第52回定期総会・懇親会

日 時：平成28年7月9日(土)
場 所：大手町サンケイプラザ
人 数：51名

阿部会長挨拶の後、活動報告・活動方針案の承認、会計報告・予算案の承認が決議されました。この間、15分ほど、そして懇親会へ。この日のメインは会員の親睦です。

8～9人掛けの丸テーブルにビールが配られ、加藤法文学部長の挨拶の後、小池本部会長の乾杯の音頭で懇親会がスタート。バイキングの料理を各自が取りに行き、同期の再会、他支部・他学部の情報交換が始まります。テーブルごとに6種類の愛媛の地酒が用意され、蔵元の味の違いも楽しめます。隣り合わせた初対面の名刺交換、先輩が若手の後輩に声をかけ、和やかな雰囲気です。

ほろ酔い気分になり、お腹がある程度満たされたころ、東京章光会の名物である演奏会が始まります。今年の演奏は、葛飾フィルハーモニー管弦楽団メンバーによる「弦楽四重奏」。



東京章光会定期総会



息の合った演奏の葛飾フィルハーモニー管弦楽団メンバー。左から小野弘達さん(第1バイオリン)、佐藤欣三さん(第2バイオリン、昭和61年法文学部卒業)、高田賀夫さん(ビオラ、平成4年法文学部卒業)、小野祐子さん(チェロ)

第1・第2バイオリン、ビオラ、チェロの4人構成です。うち2人が法文学部卒で愛媛大学交響楽団のOBです。熊本地震の鎮魂を込めた八代亜紀の『舟歌』をはじめ、『夏の思い出』やモーツァルトの『アイネ・クライネ・ナハトムジーク』が演奏されます。大学時代の思い出や近況報告に花を咲かせながらも、バックに流れる生演奏の優しい音色に聞き入ります。

資料に添付された番号札による福引抽選会では、景品に愛媛の特産品などが用意されて大いに盛り上がります。約2時間の懇親会はあっという間に時間が流れ、森脇副会長の締めの挨拶で、来年の再会を誓ってお開きとなりました。



東京章光会とは1都6県が対象。広い範囲を束ねる阿部仁会長

中央寮歌祭2016

日 時：平成28年8月4日(木)
場 所：京王プラザホテル(新宿)

旧制高校を中心に昭和36年から開催されていた日本寮歌祭が、平成22年に第50回で終了、翌年の23年から新制大学を加えて中央寮歌祭としてスタートしました。平成28年は55チーム、375名が参加して法被と鉢巻、白線帽に校旗を振りながら、各校が寮歌を熱唱。松山高校の流れを汲む法文学部同窓会からも4名が参加しました。



旧制松山高等学校寮歌『逍遙歌 若葉の古城』を歌う松高・愛大チーム。左から西迫和則(経)、(一人置いて)三宅一夫(経)、森孝枝(教育)、片山悠(松高)、佐野富茂(理)、河澄龍之介(松高)、村井昭三(松高)、高田恒夫(経)、太田重明(法)(敬称略)

総会出席者にインタビュー



森田 正さん
東京章光会顧問
元朝日ヘリコプター(株)社長
1958年卒
朝日ヘリコプターで47年間働きました。ヘリコプターのことを書いた私の文章が小学1年生の国語教科書(日本書籍)に採用されました。現在学校で使われています。



大村 万夢里さん
東京章光会事務局長補佐(株)パソナ、2008年卒
初めて司会を担当しました。静岡出身ですが、愛媛は第2の故郷です。東京章光会の総会には卒業してすぐに参加しました。学科やサークルの仲間と、3～4カ月に1度集まって飲んでいます。



高田 賀夫さん
総務省行政管理局
1992年卒
2～3年前から顔を出しています。葛飾フィルハーモニー管弦楽団メンバーとして初めて演奏をさせて頂きました。ちゃんと聞いてくれたので、よかったです。アットホームな感じですね。来年も声が掛ければ演奏します。



高垣 真也さん
松山市東京事務所
2007年卒
昨年の4月に東京事務所に異動になり、前任から引き継いで2回目の参加です。松山市のPRのために他学部の会にも出席しています。3年程度で松山に戻るとは思います。向こうでの参加はどうか。



三田村 直幸さん
岡山市東京事務所
2013年卒
中四国の東京事務所の飲み会で高垣さんに声をかけられて初めて参加しました。東京で法文学部の同窓会があることは知りませんでしたが、こちらにいる間は出たいと思います。大学の知り合いとはときどき飲みます。



愛媛大学サテライトオフィス東京(田町)で開かれた役員会(平成20年ころ)

第14回 愛媛大学法文関東ゴルフ会

日 時：平成28年5月25日(水)
場 所：クリアビューゴルフクラブ&ホテル(千葉県野田市)

12～13年前まで松山高校のゴルフ大会が年4回、計200回以上開催されていました。しかし高齢化で徐々に人数が減り、愛媛大学卒業の下世代がジョイントで参加するように。松高・愛大ゴルフコンペを経て愛大法文学部関東ゴルフ会として年2回開催しています。文乙1968年卒の同期生10名が中心となり、気軽に参加できるゴルフ会を目指しています。(連絡先) 三宅一夫 1968年卒
E-mail: km0624.okayama@ac.cyberhome.ne.jp
携帯: 090-5532-0926



第14回 愛媛大学法文関東ゴルフ会
左から、三宅一夫(撮影者)・蔵田憲治・大和治郎・重川剛・岸田祐三・高崎泰典・中沢孝夫・高田恒夫・宮本潔・渡部潔・高山政和・齋院朝隆・太田重明の13名(敬称略)

全日本大学野球選手権大会に出場した愛媛大学を応援

日 時：平成28年6月6日(月)
場 所：東京ドーム

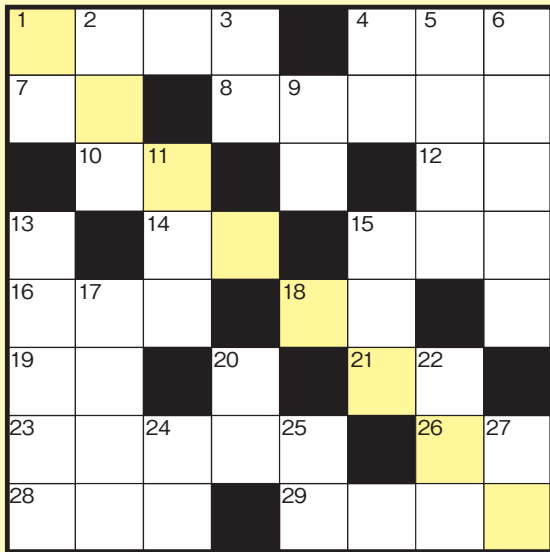
愛媛大学野球部が、四国地区予選を勝ち抜いて全日本大学野球選手権に出場。東京ドームで行われた福井工業大学との1回戦を有志で応援に行きました。試合は1-4と敗れましたが、東京在住の愛大同窓生に、勇気と希望を感じさせてくれました。今後の活躍を期待しています。



左から、高崎泰典・齋院朝隆・蔵田憲治・岸田祐三・西岡慎吾・宮本潔(敬称略)

問題

クロスワードの色がついた部分の文字を並べ替え、愛媛県に関わりの深い特産物を答えてください。



(出題：H16卒・矢野彰大氏)

●ヨコのかぎ

- ① レセプション
- ④ ギリシャ神話の地母神
- ⑦ 日本の通貨単位
- ⑧ ボクシングの階級の一つ
- ⑩ ~のほうがまだいい
- ⑫ 物理・科学・生物・地学
- ⑭ 結露による水滴
- ⑮ 抜刀術
- ⑯ 昔の五月
- ⑰ 円形の海流
- ⑱ フランス語で『海』
- ⑲ 航路に適した深い部分。航跡
- ⑳ きな粉や黒蜜をかけて食べる和菓子
- ㉑ キー
- ㉒ 規範的思想。モラル
- ㉓ 世界最小の独立国

応募方法

同封の応募ハガキに正解をご記入の上、**2016年12月15日までに**本会までお送りください。

賞品

図書カード1,000円分 20人

第19号 パズルの答え

正解：グリーンブロンナード



【解答】

前回パズル当選者【敬称略】

解答者289人中、正解者288人

【敬称略】

図書カード1,000円分 (20人)

兵頭 克明(S29)、長谷 正夫(S37)、奥田 光紀(S43)、藤上 恵三(S48)
 杉山 恵子(S51)、三好真寿美(S58)、八塚 洋(S58)、宮下 清一(S59)
 高山 剛(H8)、池田 悦子(H9)、古泉 志保(H10)、森 由香(H13)
 浅野 英徳(H17)、向井正治郎(H18)、西島 慶長(H21)、向井真理子(H21)
 今岡麻由美(H23)、澁谷 歩美(H23)、佐藤陽志加(H25)、松本 尚(H27)

- ① 下
 ② 擦って磨く
 ③ 非常に珍しい
 ④ かもめ。○○ウイング
 ⑤ 首都はローマ
 ⑥ 記録を保管
 ⑦ 十二支
 ⑧ うるし塗りの工芸品
 ⑨ 地方巡業
 ⑩ 水が湧き出す
 ⑪ 坂の上の○○
 ⑫ 走者を1人置いて本塁打
 ⑬ 落ちた生地の
 ⑭ 最下位
 ⑮ 雄弁は○○、沈黙は金

主なリクエスト

- サークル活動の情報もたくさんあるとうれしいです。
- サークルや同好会などが、その後どうなっているのか、まだあるのか知りたい。
- 大学の近辺の情報も入れてほしい。
- 音信不通になってしまった人たちとまたつながれるシステムや伝言板みたいなのを作ってください。
- 同窓会名簿を作成してほしい。

感想

お褒めの言葉、お礼の言葉、励ましの言葉をたくさんいただきました。

- クロスワードが難しかったという複数の感想が寄せられました。
- ハナちゃんの死去を惜しむ声、追悼の言葉、告知への感謝も多かったです。
- 母校の様子が知れて良かったという声も多かったです。
- 会報はHPだけでもいいのではないかという意見と紙媒体の方がいいとする意見の両方がありました。
- 法文学部の名前が残って嬉しいとの意見も多くありました。
- 「愛媛を支える“知”の会報のように思います」
- 「大きな変化に驚いています」
- 「久しぶりに松山に行きたくなりました」
- 「表紙が良かった。あまりの変貌に驚きました」
- 「大学を卒業してから身近に感じられるので、いつも楽しみです」
- 「会報が送られてくるのがいつも楽しみで、知ってる人が載ってないかなあと隅々まで探しながら読んでいます」

パズル等の解答にいただいた個人情報、同窓会事務局が適切に管理し、賞品の発送および名簿データの更新にのみ使用いたします。

役に立った記事、面白かった記事ランキング

1位「法文学部の改編」(155人)、2位「四国遍路をめぐる最新の研究から」(149人)、3位「就活のライバル-夏目漱石と重見周吉」(115人)、4位「社会共創学部を新設」(76人)、5位「卒業生から」(74人)。以下、退職教員(60)、研究室紹介(51)、EHIME UNIVERSITY NEWS(50)、学部長・事務課長インタビュー(41)、表紙(36)、Photograph around Campus(23)、パズル(19)、提供講座・寄付科目 報告(16)、支部だより(16)、卒業記念祝賀会(12)、ホームカミングデイ(10)など。

【編集後記】

- ゲラのチェックが終わると会報も一段落。厳しい残暑に気を抜かず、熱い夏を乗り切りたいと思います。(西田)
- 事務局長となり、運営側にとっての編集作業で、その大変さを思い知らされました。本業では管理職に就けなかった私ですが、仕事そのものが楽しめるという点において、それで良かったのだということに気がきました。(久保)
- 長らく同窓会事務局で経理担当をしておりましたが、今回の監査をもって退任いたしました。ホッとしました。(野崎)
- 50を目前に迷い込んだトンネルからようやく抜け出して一句。
「更年期 明日は明日 風まかせ」(小林)
- 現役学生さんにインタビューをいたしました。いつも思う事ですが、法文学部の学生は本当に良い子ばかりで雰囲気も似ているような気がします。自分が学生のときには気付かない「法文っぽさ」って確かにありますね♪今回の号で編集委員を退任致します。ありがとうございました。(後藤)
- 昨年末で事務局長を降りました。民間で働いていると大学の中のことから分からないのですが、後任は元愛媛大学職員の久保さん。心強いです。(鳥生)
- 新法文学部のスタートと共に、ますますスマートにそしておしゃれになる愛大キャンパス。記憶にある学生のころの景観は遠い昔に感じます。(戒能)

発行 2016年9月
 発行 愛媛大学法文学部同窓会
 編集 愛媛大学法文学部同窓会編集委員会
 事務局所在地 〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学法文学部内
 TEL 089-917-6376 FAX 089-917-6476
 印刷 アマノ印刷